建築ト社會

第四輯　第八号



夏室のクキン

大正十年八月一日

日本建築協會

日本建築協會會則

第一條　本會ノ目的ハ我國建築界ノ堅實ナル發展ヲ期スルニ在リ

第二條　本會ハ日本建築協會ト稱ス

第三條　本會ハ事務所ヲ大阪市ニ置ク

地方ニ支會ヲ設クルコトヲ得

第四條　本會ハ人格、學識、經驗アル建築家ヲ以テ會員トス

會員ノ氏名住所ハ會員名簿ニ之ヲ記錄ス

會員タラントスル者ハ會員五名以上ノ紹介ヲ以テ入會希望書及履歷書ヲ本會ニ提出スヘシ其諾否ハ理事會ニ於テ議決ス

第五條　本會ハ其目的ヲ贊成シ事業ヲ援助スル者ヲ賛助員トス

賛助員ヲ分チテ左ノ四種トス

一　名譽賛助員―地位又ハ學識アル名望家

二　終身賛助員―金參百圓以上又ハ之ニ相當スル物件ヲ本會ニ寄附スル篤志家

三　特別賛助員―建築ニ關聯スル特種ノ技術家又ハ事業家

四　普通賛助員―建築ニ關係又ハ趣味ヲ有スル者

賛助員ノ氏名住所寄附ノ金額又ハ物件ハ各賛助員名簿ニ之ヲ記錄ス

第六條　名譽賛助員ハ例會ノ決議ニ依リ本會之ヲ推薦ス

終身賛助員タラントスル者ハ會員貳名以上ノ紹介ヲ以テ申込書及寄附ノ金額又ハ物件ヲ本會ニ提出スヘシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

特別賛助員タラントスル者ハ會員二名以上ノ紹介ヲ以テ申込書及履歷書ヲ本會ニ提出スヘシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

普通賛助員タラントスル者ハ會員二名以上ノ紹介ヲ以テ申込書ヲ本會ニ提出スヘシ其諾否ハ理事會之ヲ議決ス

第七條　會員ハ會內ニ於ケル其言行ニ付會外ニ於テ責ヲ任ゼザルコトヲ得

會員ハ會內ニ於ケル言行ニ付會外ニ於テ責ヲ任ゼザルコトヲ得

名譽賛助員ハ本會ノ優遇及第十九條ニ基キ相當ノ利得ヲ受ク

終身賛助員、特別賛助員及普通賛助員ハ第十九條ニ基キ會誌ノ配布其他各相當ノ利得ヲ受ク

第八條　會員ニシテ脫會セムトスル者ハ其旨ヲ本會ニ申込ムヘシ

前項ノ規定ハ賛助員ニ之ヲ準用ス

第九條　本會ハ會員ニシテ本則ノ規定ニ違背シ又ハ本會ノ名譽ヲ汚スノ行爲アリト認メラルヽ者ニ對シ理事會ノ決議ヲ經テ其權利ヲ停止シ若ハ之ニ脫會ヲ勸告シ又ハ例會ノ決議ヲ經テ之ヲ除名スルコトヲ得

前項ノ規定ハ賛助員ニ之ヲ準用ス

第十條　脫會其他ノ事由ニ因リ會員タルノ資格ヲ失セルル者ハ既納會費ノ返還ヲ求メ又ハ其債務ヲ免カルルコトヲ得ス

第十一條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一　會頭　一名

二　副會頭　一名

三　理事長　一名

四　理事　十名（理事長ヲル理事ヲ含ム）

前項ノ規定ニ依リ賛助員ニ之ヲ準用ス

會頭ハ會務ヲ總監シ本會ヲ代表ス

副會頭ハ會頭ヲ補佐シ會頭事故アルトキ其職務ヲ代理ス

理事長ハ會務ヲ總理シ會頭、副會頭事故アルトキ其職務ヲ代理シ理事會ヲ代表ス

理事ハ會務ヲ處理シ理事長事故アルトキ理事會ノ決議ニ依リ其職務ヲ代理ス

第十二條　役員ハ會員中ヨリ例會ニ於テ之ヲ選擧ス但會頭、副會頭ハ名譽賛助員中ヨリ之ヲ選出スルコトヲ得

理事長ハ理事ノ互選ス

役員ノ任期ハ二年トス　但シ理事長ニ付テハ一年トス

理事ノ改選ハ每年半數トス但引續キ重任スルコトヲ得ズ

第十三條　本會ニ左ノ職員ヲ置ク

一　主記　一名

二　主計　一名

三　編輯　三名

四　編輯補　若干名

五　書記　若干名

主記ハ庶務ヲ、主計ハ會計ヲ、編輯ハ編纂ヲ處理ス

編輯補ハ編輯ノ旨ヲ受ケ編纂ヲ分掌ス

書記ハ理事長、理事ノ命ヲ受ケ會務ニ從事ス

第十四條　主記、主計、編輯ハ理事之ヲ互選ス

編輯補ハ會員中ヨリ理事會之ヲ指名ス

書記ハ理事會之ヲ任命シ有給トモ爲スコトヲ得

第十五條　本會ハ調査研究ノ必要ニ應シ例會ノ決議ニ依リ各部委員會ヲ設ケ各部ニ委員若干名ヲ置ク

委員長及委員ハ會員中ヨリ理事會之ヲ指名シ委員長ハ當該委員ノ互選ス

理事會ハ特殊事項ニ關シ會員外ノ專門家ヲ臨託委員トナスコトヲ得

第十六條　委員長ハ當該委員會ヲ代表シ委員長事故アルトキハ當該委員會ノ決議ニ依リ委員其職務ヲ代理ス

委員會ノ經過ハ例會ニ於テ之ヲ報告ス

委員會ノ調査研究報告ハ例會ノ決議ヲ經テ本會ノ名ヲ以テ之ヲ發表ス但シ緊急事項ニ付テハ理事會ノ承認ヲ經テ當該委員會ノ名ヲ以テスルコトヲ得

第十七條　本會ハ每月一回會員ヲ召集シ例會ヲ開キ重要事項ヲ審議シ報告會、談話會、討論會又ハ講演會ヲ催ス但理事會ハ必要ト認ムルトキハ臨時之ヲ開催スルコトヲ得

例會ニ於ケル議案其他ノ事項ハ理事會之ヲ會員ニ豫告ス但緊急事項ニ付テハ此限ニ在ラズ

第十八條　本會ハ春秋二季大會ヲ擧行ス

第十九條　本會ノ行フ事業左ノ如シ

一　建築ニ關スル諸般事項ノ調査研究

二　建築ニ關スル重要事項ノ議決

三　會誌ノ發刊

四　建築ニ關スル圖書ノ刊行

五　建築ニ關スル講演會ノ開催

六　建築ニ關スル展覽會ノ公開

七　建築ニ關スル視察

八　建築ニ關スル有志者ノ親睦會

九　理想的建築ノ計畫

十　其他建築ニ關スル有益ナル事項

十一　

十二　

第二十條　會員ハ會費年額金拾八圓ヲ本會ニ醵出ス

但例會ニ出席シ難キ地方ニ在ル會員ノ會費ハ半額トス

一時ニ金貳百圓以上ヲ出ストキハ爾後前項ノ會費ヲ免ル

會員タルノ承認ヲ得タル者ハ入會金五圓ヲ本會ニ納付スヘシ

特別賛助員ハ特別賛助員タル年額金九圓ヲ、普通賛助員ハ普通賛助員年額金六圓ヲ本會ニ前納スヘシ

但六期以內ニ之ヲ分納スルコトヲ得

第二十一條　本會ノ經費ハ會員ノ會費入會金寄附金賛助員其他ノ收入ヲ以テ支辨ス

本會ノ財產ハ理事長之ヲ監理ス

第二十二條　本會ノ財產債權債務及每月ノ收支ハ主計其計算書ヲ作リ翌月例會ニ於テ報告ス

本會ノ財產債權債務及每年ノ收支ハ理事會其決算書ヲ作リ翌年一月例會ニ於テ報告ス

第二十三條　本會及本則ニ關スル詳細ノ事項ハ例會ノ決議ニ依リ細則ニ之ヲ定ム

第二十四條　本則ハ例會ノ決議ニ依リ之ヲ變更スルコトヲ得



日本エレベーター製造株式會社

大阪市東區中道川西町五百六十一番地　電話南三八〇五番

營業種目

エレベーター、リフト　試運轉　各種機械　各置
コンベヤー　高保能　各置
捲上機械　塔安實　各置
クレエン　（東式）　各置
松式）　各置
架空索道及諸機械　設裝驗　各置

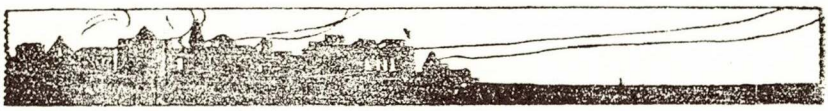
右設計及製作

出張所　東京市丸之內東京驛前海上ビルデンゲ六階、六一九號、六二十號室　電話丸之內九六〇番
本局二二〇二番

特約販賣店　東京市麴町區永樂町　高田商會　本支店出張所

代理店　大連市山縣通百番地　日米公司　電話二二七〇・二〇四五番

代理店　朝鮮京城府長谷川町八十五番地　日米公司　電話二五三〇番



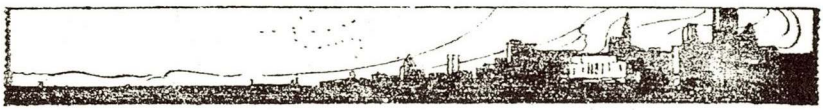
建築と社會　第四輯第八號目次

▲口繪……（三色版）
夏室のクリスマス（寫眞版）
大阪市立「市民館」正面（寫眞版）
大阪市立「市民館」平面圖

〔卷頭〕
○夏日……

〔論說〕
○現代の自治生活（上）……男爵　後藤新平……二
○都市改良の財源……東京帝國大學法學部教授・法學博士　渡邊鐵藏……六
○藤井厚二氏の「住宅に就て」を讀みて（下）……會員　園部文雄……九
○實費加算報酬式請負奬勵に就て……會員　株式會社大林組取締役　松本禹象……一五

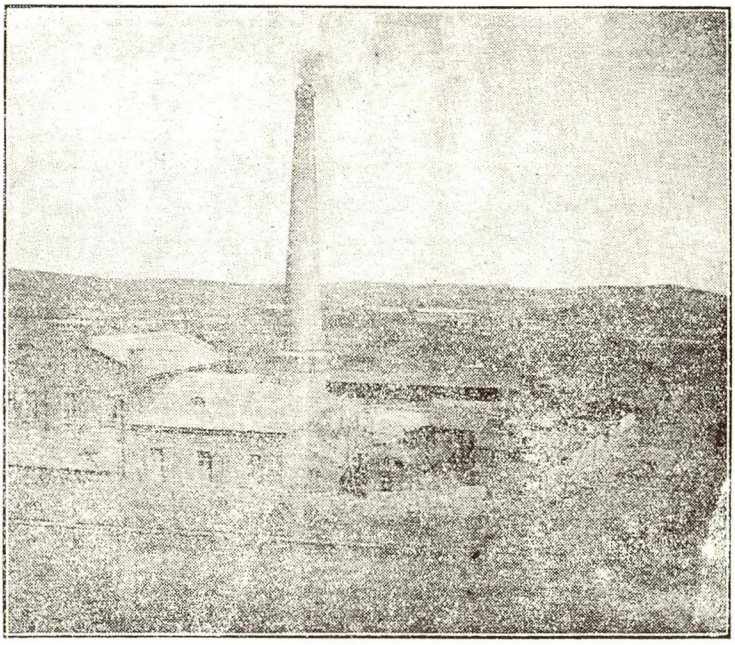
〔研究〕
○セメントの凝結緩和作用……工學博士　細木松之介……二〇
○請負人が注意すべき權利義務（中）……終身會員　有山福重郎　瀧本辯護士編……二四



〔都　市〕
○將來の市加古市(15)……ウオルター・ディ・ムウデイ著・乙Y生譯……二九
○現象の大大阪都市(甲)……玄黄子……三九
〔講　壇〕
○歐米の住宅問題に就て(中)……名譽贊助員 工學博士・直木倫太郎……四六
〔資　料〕
○英國に於ける建築組合の進歩(下)……ジーデーエィチ・コール……五一
○都市社會事業と社會事業家(中)……岩村貫三郎……五四
〔漫　錄〕
○直木博士の講演を聽きて……會員・A B C……六三
——英國の勞働者と日本の智識階級——附錄——管理人の見たる借家人の百癖
○彼と吾(二)
N建築家……かうそん……七〇
○臺所と流しと衣服……小幡大阪府內務部長夫人・小幡きみ子……七五
○小品二つ……修生……七八
○雲の峰……夢古村人……八一
□時　報　□會　報

現代建築界ノ最高權威

關東廳土木課●南滿鐵道會社●大阪府廳●市役所
其他諸官省●有力土木建築設計家各位●實驗證明



顧問技師　工學士　雨宮弃雄

相談役　前野芳造

營業課目

滿州產
- 青色大理石、黑色大理石
- 鹿兒島產白色硅藻土
- 白色硅石及硅石粉、酸化マグネシューム粉末、滿蒙セメント各種、雜礦石
- 海水石鹼

舖床材料

耐火リノリウム（專賣特許出願中）
耐水、衛生、保温、美觀、低廉

土木建築用防水劑
ボースイ（專賣特許出願中）
品質內外品ニ優リ價格低廉

滿蒙化學研究所代理店

大阪市北區南安治川一丁目十三番地

大阪耐火リノリウム工業合資會社

電話西（營業用）四五九
（長）二五五四
三六三三

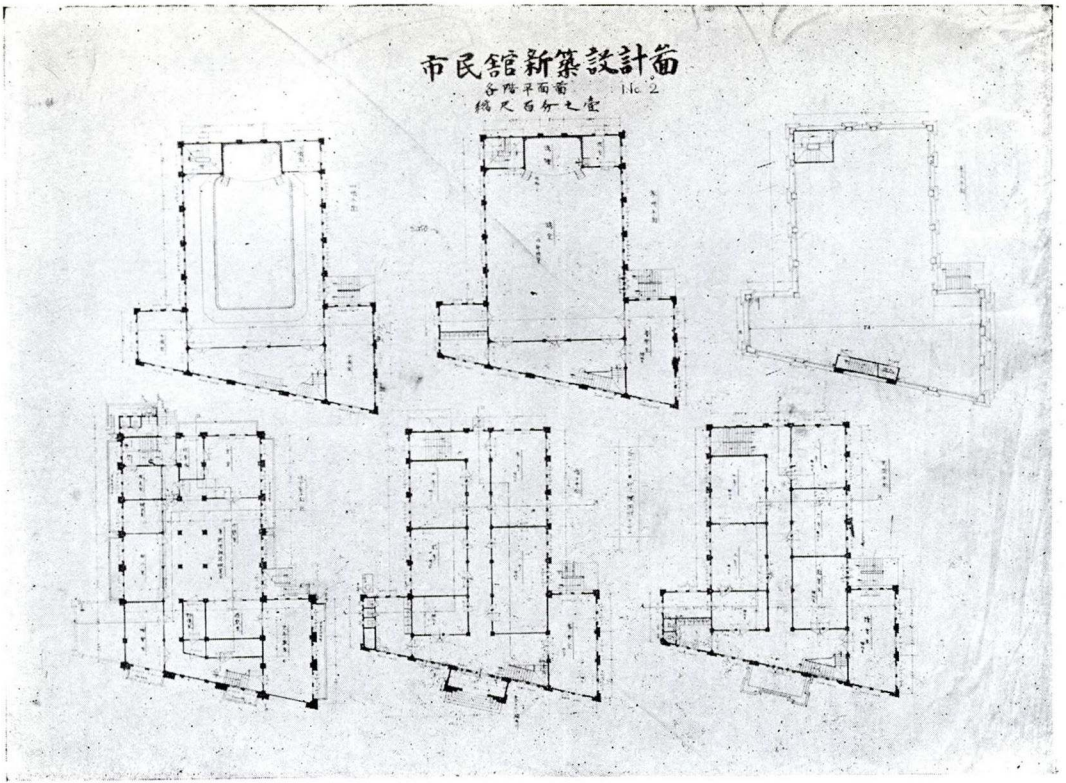


大阪市『市民館』正面

市民館新築設計畫

各階平面畫 No. 2

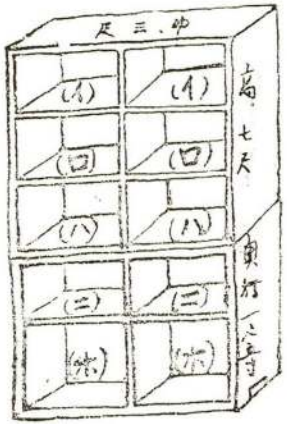
縮尺百分之壹



建築材料見本棚出品規定

一、本會事務所集會室内ニ建築材料見本陳列棚ヲ新設シタルヲ以テ會員及會員外ノ出品ヲ歡迎ス

一、出品料ハ陳列棚ノ種類ニヨリ左ノ割合ヲ以テ貸與ス



一ヶ料月金

(イ)	壹圓五拾錢
(ロ)	壹圓
(ハ)	貳圓
(ニ)	壹圓貳拾錢
(ホ)	壹圓

一、期限ハ半年ヲ以テ一期トシ出品料ハ前納スルモノトス

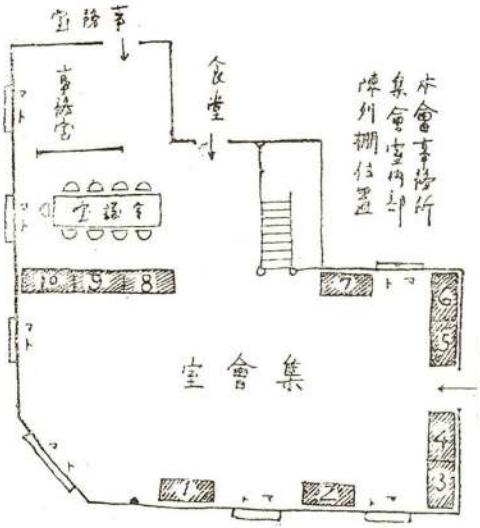
一、一年以上ノ契約ニ對シテハ前項ノ出品料ノ一割ヲ減ズ

一、會員ニアリテハ前項ノ出品料ノ二割ヲ減ズ

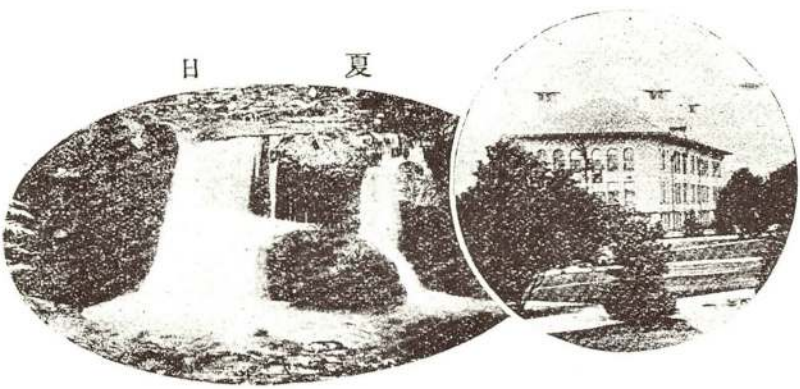
一、出品ノ位置方法ハ出品者ノ隨意ナリト雖、場合ニヨリテハ本會ニ於テ之ヲ變更スルコトアルベシ

一、既納ノ出品料ハ理由ノ如何ニヨラズ之レヲ返附セズ

一、陳列棚位置左ノ如シ



（備考）申込書及契約書ニ關シテハ本協會事務所ニ付承合セラレタシ



夏日

公客衣須直裏桑

事亦小隨上臥處

無稀吏溪虛看士

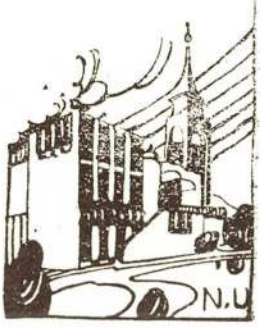
多朱不潭亭柴詩



論說

現代の自治生活（上）

男爵 後藤新平



市民の自治生活、殊に「現代の自治生活」とは何であるか、之を約言すれば、現代の自治生活とは、法律命令の禁せざる限りに於て、凡ゆる科學的生活に必要なることを爲し得る事、是れ現代の自治生活である。即ち、法令の禁せざる範圍内に於て、凡ゆる科學的生活の幸福を享有し得ると云ふ事が、現代自治生活の本領である。

科學的生活とは奈何なる事であるかと言へば、Science に基礎を有つた所の生活、其の生活が、法律に禁ぜられざる所の凡ゆる方面に向つて幸福を求むべく開拓しつゝ行く所の生活、斯う云ふ事になると私は考へて居る。之に依て、都市研究會の宣傳を爲す、又都市計畫の遂行を容易ならしむる所のものである、と思ふのである。

仍で、都市計と云ふ事、都市の健全なる發達を遂げやうと云ふ事になれば、最も市民の現代的な自治

生活の觀念が必要であると云ふ事になると考ふるのである。唯今述べたる樣な、現代の自治生活と云ふものは、決して臨機應變主義の自治生活ではない。又一日暮しの自治生活でない事は寔に明白である。即ち獨斷主義の自治生活でない事は、寔に明瞭な事であらうと思ふ。現代の自治生活と云ふものは、其の基礎の科學的に充分調査し研究せられたる所のものを必要とするのである。斯の生活をしやうと云ふに就て、市長の力とか市會の力であると云ふ事を思ふ者は、現代の市民としては一人もあるまいと思ふ。或は否なと云ふ方があるならば、私は承りたいと思ふ。全く此の市民の力に賴らなければならぬ、と思ふのである。市民夫れ自身が、此の科學的生活に必要なる理解を有たなければならぬ。

此の科學的生活と云ふと、學者の言ふ樣な事で、大變六ケ敷い事だと、人々は考へるかも知れぬ。併し、それは、決して左樣なる學者の專用ではないのである。現代の生活は、決して科學的智識を學者の專用とすゝ事を許さぬのである。凡ゆる國民、凡ゆる市民が、科學的智識を以て科學的生活を爲すにあらざれば、其の幸福を享有する事が出來ないのであるから、決して學者の享有ではない。故に、私は曾て、大阪每日新聞の催しに依り、「自治生活の新精神」と云ふ事に就き、大阪に於て講演を爲した事があつた、其の時に申し述べたかも知れぬけれども、尙ほも此の處に繰返して申し述べて見たいと思ふのは、元來文明の生活と云ふものは奈何のものであるかと云ふと、學者と俗人との距離の少い生活であると云ふ事が、文明の生活だと思つて居る。故に、科學的生活と云ふと、何だか六ケ敷いやうであるけれども學者と云ふものは、科學と云ふものを尊ぶから、非常にエライものゝ樣に思つて、俗人とは非常に距離が遠い樣に言つて聞かせる所に、其妙所を有つて居る。けれども、造物者はさう考へない、決して科學と云ふものを學者にばかり專有させると云ふ事を許さぬ。

由來、學者の惡口を云ふのではないが、私は無學ではあるけれども、學者の御蔭に依つて、幾らか其の盲らの杖の樣に智識を與へられ助けられて居る者で、恩知らずの事を云ふ譯ではないけれども、學者

の恩を本當に心得て、科學的生活をなさうと思ふならば、是非此の事だけは知らなければならぬと、思ふのである。之れは、學者と云ふ者は、斯う喰付いて居るものを斯う遠く置いて、さうして段々〳〵遠い樣に云つて喜んで見たり、斯う遠い所のものを非常に近い樣に云ふて見て喜んで見たがる、そこを喜んで見たりする。即ち、同席に誘はれてやつたならば、酒飯を強いられて醉ぱらいになると同じである。此處が現代の生活をする所の國民に於ては、最も注意を要する所である。仍で、餘談に亘るようであるが、一番おかしい話は、或る神官の集會に坊主を引出して、「貴樣は地極だの極樂だのと見て來た樣な事を云ふが、それは一體何處に在るのだ」と訊いた、さうすると、坊主はせゝら笑を爲て云ふのに、「御前さんはそれが判らぬか、判らぬ所は誰れも見たものが無いよ、直き其處にあるものが判らぬか」「判らぬから判らぬのだ」と云つていじめた所が、「それなら云ふて聞かせよう、それは高天ヶ原の隣に在る」と云つた、此處が學者の云ふ事に就て直きに解る所である。

仍で、都市研究會の仕事の如きは、大變に二階から目藥と云ふ樣な事を云つて、さうして百年河清を待つ樣な事を云つて、やれ何をやつて居るなど云つて居る、それ調査だ、研究だと云つて居るけれども今日は實行の世の中だ、それは判り切つて居る、と云ふ樣な事を云ふ者がある。其の判り切つて居るのが、實は怪しいのである。それが爲に、過を爲して、無用の金を使つたり、其他色々な事をすると云ふ事が澤山あつて、都市生活と云ふものを、一日でも早く完全に、快くして住み好くしたい、と云ふ事を爲すのには、どうしても、此の都市研究會抔が努力を爲なければならぬ、と云ふ事に我々は考へて居る。左樣に、二階から目藥だと云ふ樣な事に骨を折つたり、何か直に判り切つて居る事で、直ぐやりさへすればよいものを、大變六ヶ敷い樣に、段々御前が云ふた通り學者の眞似をするのぢやないか、斯う云ふ注意が起るかも知れないが、市民が其點に就て全部が理解する事が出來ると云ふ事になつたならばどうなるであらうか、現代の自治生活と云ふものはどんなものだ、と云ふてそれが判る樣になつたなら

ば、どう云ふ事にならうか、都市計畫が出來ずに濟むものであらうか。

さて、建築の事に至つて、建築其物に注意しなければ、都市研究會の主張するが如き都市の健全なる生活を全ふする事が出來ない、建築其ものに大に注意しなければならぬ、其の注意と云ふ事は、科學的生活を除いて何處に注意なるものがあらうか、さうして見ると、雪隱一つ建てるのも、小屋を建てるのも、科學的智識を離れて、どうして出來ようか。又、門を出て歩くのでも、現代の科學的智識に賴つて吾人の注意すべき自治的觀念を有つて行きたい。左り歩きにした所が、右歩きにした所がさうである。其の自治的觀念の最も必要なものは何であるかと云ふと、Selfcontrol である。即ち我儘をしないと云ふ事である。「人ごとに一つの癖はあるものよ吾には許せ念佛の癖」、ぢやない、「我には許せ我儘の癖」である、と云ふのが一番悪い。吾は此の位な我儘を爲しても、隣の奴が能く注意をするからよからう、俺は此の位の自由を爲ても、外の者が差支ない樣にするからそんなに大きな事にはならぬ、自分の不潔物を此邊に捨てゝ置いても、是は警察令でやつといた所が何、外の奴が清潔にする樣に警察令を守りさへすればそれで宜しい、斯う云ふのが、果して、自治觀念の全く徹底した現代の市民であるや否やと云ふ事が、寔に見易き實例である。而して、火の要心の一點に致したならば、能く此の事が判るのである。是は、各人の注意一つに依つて行ける所のもので、其の觀念が現代的に進んで行つて種々な方面に發展して行く。命令は命令だけで、考のある所の自治的觀念がありさへすれば、警察の如きは何も必要がない大なる金を費す事は要らぬ、と云ふ事に相成る譯であらうと思ふのである。（文責在記）

（者つゞく）

都市改良の財源

東京帝國大學法學部教授 法學博士 渡邊鐵藏

今度歐羅巴の大戰が起つて以來、世界大騷動、到る所に改造々々の聲が聞えて日本でも改造の聲が起つて居るが、併し種々の方面に於て、其の實の擧がつたとはまだ認め得ないのである。今日、我々は改造しなければならぬ、と感ずるものが、多々耳目に觸れるのである。例へば、稅制の問題に就ても、種々の問題が起り、或は目下八釜しい滿鐵の問題である、或は阿片の問題である、東京市の疑獄事件である、此等の問題が八釜しく唱へられて居るが、之は、要するに、國民の自治の精神が缺乏して居るのを、自ら證明するものである

抑も都會の人口集中の傾向は、今更申すまでもない事であつて、日本に於ても、六大都市、東京大阪の如きは其の中でも最も著しいものである。六大都市だけでも、日本全國の人口の一割を占めて居る。而も都會には、社會的にも、精神的にも又物質的にも、國民生活の重要な地位を占むる人が集まつて居るのであるが、其の生活、其の理解と云ふものは、自分自身にも餘りよく考へない、又、政治の局に當つて居る者も、餘り能く考へて下さらぬと云ふ傾向がありはしないか、と私は考へる。或は政黨に農民黨があるかも知れない、私は、茲に、都會に我々がさう云ふ團體を造つて、特に我々だけの利益を圖つて呉れと云ふ事を申す譯ではないが、少く共都會の人民、就中、都會の人民を代表して居る人士は、此等の問題に就ても相當の理解を有たれる事を希望するのである。幸にして、大阪市は、種々の事業の上に、又市政の運用に見ても、此の自治的精神が、他の都市に比較して發達して居るかの如くに見られる。尙ほ、此の上にも、都市の問題に就て、充分の研究を遂げられて、之を其實際に應用せられる事を望んで

已まないのである。

公園に就て見ても、今日種々な設備を應用されて居る。是は、私共の少年時代から見れば、大變な發達であるけれども、既に今日以上の必要に迫られて居るであらうと考へるのである。

米國のボストンなどでは、公園の外に、公園と公園を連ねる道が立派に出來て居る。其の外、大都市の郊外に多くの公園を造る、或は町村を連合して公園を造る、公園系統なども完全に出來て居るのである。

ボストンの人口は七八十萬で、大阪よりは少いのであるが、此のボストンは其の附近の三十八許りの町村と聯合し、ボストン市廳を中心として、半徑十五哩、約七里の圓周を劃し、巨額の費用をかけて公園系統を造つて居る。其の面積を總計すると、一萬三千エーカー、日本の面積で約百六十萬坪である。又、公園と公園を連結する公園式の道路がある。其の出來上つたものは、三十五哩であつて、其の道幅は、平均三十八間と云ふ却々廣い道である。

又プロビデンスの如きでも、此處では、四つの市と七つの町から成つて居る公園組合があり、知名の有力者が委員になつて、公園の完成に努めて居る。大阪の如き都市に於ては、斯の如き計畫を樹て進んだらどうか、と思ふのである。

仍で、財源の問題であるが、それは、地租の如きを、早く地方稅に移すと云ふ樣な事が必要であらう、と思ふ。今日では、大藏省は之に反對して居るのであるが、私共は、是を是非共地方に移すべきものである、と主張すると同時に、必ず近き將來に其の時期が來る、と思ふのである。それから、尙ほ、都市計畫の財源として、私は、地帶收用と云ふ事を申して居るが、是は、勿論新らしい考である。例へば、道路を造る、と云ふ場合に、二十間なら二十間の道路を收用するに止まらず、其の左右數間、數十間を收用するのである。公園を造る場合でも、十萬坪の公園を造ると云ふ時に十五萬坪を收用して十萬坪を公園と成し、五萬坪は店舖或は住宅地として貸與する、其の必要以外に地帶の收用をする、折角公園を造つても廻りに

豚小屋が出來たり、煤煙が來たりしては、公園の美觀を損するから、それを損じない樣に、又一方からは適當な財源も得られる方法を講ずる。

道路は作り放しにし、其の道路が出來た爲に地價は上つても、稅金には少しも變りはないと云ふのは、一方から見れば、公平を缺く事であつて、斯樣な事を放任して置くと、却つて、一方には投機心を起させる虞がある。

都市の改造と云ふ事は、我々が今日住む都會を善くすると云ふ事以外に、子孫の爲めの計を立てるのであつて、餘程徹底的に是を行はないと、何時でも、同じ事を繰返して行かなければならぬ、と云ふ事になるのである。彼の巴里の大改造の如きも、當時八億の公債を募り、五十六哩の路線を完成したのである。米國の如きも、國債も多いが都市計畫の爲め、市債は國債の十倍にも上つて居るのである。即ち、その位都市の改善に努力して居る。惡口を言ふ樣であるけれども、此頃でも、市が公債を募集しやうとすると、大藏省は却つて之を妨害すると云ふ樣な事は、私から申すと、それは決して何等の理由の無い事である。理由なきに、公債募集の邪魔を爲て、市民の利益の妨害をして居る樣なものである。郵便貯金の如きでも、少しも社會的には使はれてゐない。少しは都市にも融通する、と云ふ事をして呉れても宜からうと思ふ。それも、融通して呉れなければ、此方ですると云ふが、即ち大阪市では銀行を經營すると云ふ事であるが、是は實に宜い事であると、私は思ふ。案を立てゝ當局に具申して居ると云ふ事を聞いたが、他の都市に於ても大に斯の方向に進むべきであらうと思ふのである。歐羅巴には、多く斯る例がある。巴里の如きは、巴里の仕事をするのに巴里ばかりの費用ではない、國庫から費用を出して居る。公園も、國から唯だ土地を下附して呉れたのではない、其の費用の大部分は、國から出して呉れた、と云ふ樣な事もやつて、市民の生活の幸福と云ふ事に努力して居る。斯の如くにして巴里市民の幸福になるのみならず、佛蘭西人民が巴里に遊んで、大層愉快であるのみならず、世界の國民が愉快である。我々は斯の如き事を聞いてそれを、我が政府に直ぐ行つて貰ひたい、と云ふのではないが、少くとも、日本の大都會に住む者が、我々の命の縮まる樣な、少くとも神經衰弱になる樣な、さう云ふ慘な狀態からして、早く遁れたい、と考へるのである。（文責在記者）

藤井厚二氏の「住宅に就て」を讀みて（下）

會員　園部文雄

例へば酒の瓶や『コップ』類に種々の形のものを用ひたり、肉を盛る皿、魚を盛る皿などを異にするのみならず之を切て食ふに用ゆる『ナイフ』や『フォーク』迄形の異つたものを用ひますこれは殆ど度藤井君のいふ日本の食器が複雑なと同じことで一面から見れば人間自然の情趣から湧て來る結果で或程度迄は止むを得ない現象だらうと思はれます。

併し純實用一點張の『バケツ』や飯櫃盛の如きものは大さを異にし重ね合しのきく樣にして置けば整頓するにも便利であるし引越し移轉の際荷造りするにも寔に重寶であらうと考へ物により改良したい又改良せなければならぬものが澤山あります

藤井君は大阪の街が狹いのに拘らず青いものを樂む爲に植木を植へてある事を攻擊して居られるがこれは見方に依る事で樂む爲に植へたものとすれば一言の返す言葉もない樣なものゝあれでも矢張街路樹としての功能を發揮さす爲に植たものと見なければならず亦何分其効をなして居るのは拒むべからざる事實とすれば左程攻擊するにも當らないかと考へられる併し大阪に限らず一般日本都市の歩道が狹くて而も其處に露店、店先の類が突出して居る爲自然歩む道が狹められ勢ひ車道を歩かなければならぬ有樣を嘆せざるを得ない次第であつてこの見地から日本の道路と其歩道をあきたらず思ふのは事實であります。

第五には茶道を擧げて居られるが僕は茶道に對しては趣味を有ち面白きものとは思つて居れ共未だ深く其道に入りし事もなく謂はゞ全くの門外漢同樣なればこれについて論ずる事は止めます。

第六には腰掛の生活でありますがこれは少々經驗もした關係上多少意見もあります。

成程疊に坐つて居つたり臥て居たりしますと腰掛の生活を一寸して見たくなりますが全然腰掛の生活ばかりすると疊の上に坐りたくなるのが大勢上否むべからざる要求の樣に思はれます。先日も新聞で見ましたら日本人は腰掛の生活をしたならばと思ふと同じ樣に西洋でも一二の人は坐習を宣傳實行して居る樣子です而して疊の上に生れ疊で育ちたる日本人としては疊に對する執着心の強いのも亦當然で嘗て日露戰爭の時代永らく疊の生活を遮斷された軍人が占領地に入り込で來た料理店の僅か五疊許りしかない疊に坐り淺草海苔二三枚で酒の一本も飮む事を唯一の樂みとして高い金を拂ひ乍ら入れ替り立ち替り殺到したなどいふ事は疊に不自由しない人の想像する事も出來ない現象だらうと思はれます。

一體疊の上に坐る事が椅子に腰掛るよりも安定の位置にある事は言はずも明であると共に適所に自己の占領するべき位置を見出し得る度合は椅子式よりも遙に多く從て場所と人數に對する應變性に富み一々椅子や机を動さなく共思ふが儘に勝手な位置を取れる便利があり其他色々の點から却々棄て難い長所がある而してこれを實例に就て稽へて見ても西洋式の應接間と疊敷の客間を有する家が多いとすれば（この種の家屋の多い靑島の家屋に就ての經驗に依れば）西洋式の應接間に通するよりも日本式に疊に坐らした方客を遇するに叮重なるが如き感多く自然椅子式の應接間を離れて疊の間へ通ずる人々が多いそして椅子式の間はほんの一時の待合せ間か乃至は一寸立話しをする代りに用ひらるゝ如き有樣となり少し親しい人になればどうしても疊敷の室を用ふるといふ現象であります。

それで私の考ふる所によりますと日本人の頭から住宅を客本位に見て居る觀念を取り去るか乃至は疊といふ對象物を全くなくしてしまうかせなければ坐習と云ふ事が一寸止め難からうと思ひます又これには服裝の問題や食物の問題などにも關係を有つて居りまして單に住のみを以て論ずる譯にも改良する譯にも參り兼ねると考へます。

然らば如何樣にしたならばよいかとの反問もあ

りませうが私の考へて居りまする所は藤井君などゝ一寸異つて居つて一足飛に椅子式を採用するよりも同じ家内にて椅子と疊を同時に用ひ得る支那式の住ひ方にした方が最も便利であらうと思ひますこの支那式の住ひ方は現今の支那人同様といふ譯ではありませずこれを土臺と爲して工夫改良するのでありましてこれの詳しい事に關しては何れ稿を更めて皆樣の御意見を訊きたいと思ひますから今は其外線に觸たのみで止めて置きます。

次は間取の事でありますが客本位を止めて家族本位とする事は全く同感であります。

異つた目的の爲同一の部屋を使用するとの一例として西洋式の便所と浴室と一所になつたものを擧げて居られるがこれなどはいさゝか極端な例であつて皆が皆まで斯くの如きものばかりではないし共用に差支ないと思ふものもありますが大躰に於て異つた目的の爲同一部屋を使用するとの否なることについては賛成します併し要するに程度並に經費の問題に歸着するだらうと思ひます。

同君の云ふ所の疊を床より一尺五寸位高くして一疊乃至三疊の部屋の一隅に取つて經濟的の寢床とする方法は支那に於て見る例であつて僕の所論たる支那式を有力に裏書して居る觀があり甚だ愉快を感ずると同時に大に賛成する所であるそして家の造りを成るべく生活に手數のかゝらぬ樣にすることも賛成であるが下女を全く使はない樣にすることが出來ればそれにこした事はないがちと談が極端すぎる樣な嫌があると思ふ無論生ひたちも異ひ年齡も異ふからには思想も異ひ相互に諒解の出來難い塲合もあるであらうがそれが爲に極力排斥する事は何うかと思ふ成る程設備次第では女中を殆ど要せない樣になし得るであらうが設備しても出來ないものがあれば女中も必要であり小兒の世話や子守などの上から言つても程度の問題であらうかと思ひます但し雨戸を改良して戸締りを簡單にすることは寔に同感で吾々もこれに向て進みたいと思ふのであります而も椽側を存置改良して。

第八には衣食の問題であるがこれには賛成の點が多い其第一として男子の服裝を改良支那服にしたらといふのであるが恰當僕の言はんとする所で

あつて全々賛成である。

和服は一面經濟であるかも知れんが不便にして不都合な點多く晝間の衣服としては不充分なるとは議論の餘地がありません洋裝はこれに比し便利であるが亦相當の缺點も持つて居る而して支那服は二者の內で最も優れて居る事も明で服裝としては先づ第一に推さねばならぬ代物丈にこの說に就ては双手を擧て賛成する併し夜の寢衣としては日本服を保留して置きたいと思ふ。

婦人の服裝として改良朝鮮服を用ふる說も寔に賛成である而して改良すべき第一の要點は上着を今少しく長くして上衣と袴との間に乳の見へるのを防ぎたいと思ひます。

服裝の材料は木綿にしようと絹にしようと又は毛織物にしようとそれについては餘り考へては居ませんが流行や見榮を張る事が多すぎて碌々着もしない服裝を澤山造る癖丈は止めたいと思ひますそして色や柄も簡單にして老若互に融通し得る樣にしたならば尙よからうかと兼々思つて居ます又小巾を止めて大巾で賣り出す事も寔によい事でこの點は藤井君の所說に全く賛成する。

食物も日本人の趣味性にもよる譯でありますが未だ改良すべき點が多い樣に考へて居ます特に廢物利用の方面に今少し考へを注ぎ食糧問題の八ヶ間敷折柄折角食べられるものを其儘棄てず調理を以て之を食ふ樣にすれば國益にもなると思ひます例へば西瓜や果物の實を食ふとか牛や豚の內臟を食ふとかは支那人の一般にやつて居る事ではあるが日本人は或る方面では煮汁にしたりしてやつて居るらしいが一般にはやつて居ない樣でありますから非普及さしたいと思います其他海產物や野にある草木などの內にも食ひ得るもので食はずに放てあるものが未だあるだらうと思ひます。

次には臺所の問題でありますが臺所の設備をよくし器物の配列を整備さして衞生的なるのみならず動作を敏捷にして婦人の手を省ける樣にする事の急務なるは申す迄もない事であつてこれについては何も言ふ必要のない位各所で意見の發表がありますから止めて措きますが唯一つ是非改良したいと思ふ事は日本の竈であります何んとか今少

し研究して其餘熱を利用したいと思ひます日本の様に飯を食ふ國では炊火する度數も多くありますからこの餘熱を有効に利用したならば莫大な得があらうと思はれます。

浴室は西洋式のものも宜敷ありますが浴槽丈で流しのないのは困りますし又浴槽もあまり滑らかなものは掃除によく清潔ではありましようが小兒などには危險がありますからこれは小さい子供のある家庭には考へものだと思つて居ますそうして風呂の湯は別の所で沸して湯と水とを隨時に加減出來るものならば格別であるがよくある様に一度入浴する丈しか沸すことの出來ない式のものであると最初入る時に適當の加減にすれば出る時は少々寒い様な事になり出る時によい加減にして置けば入る時に少々熱いのを我慢せなければならず一寸日本人の習慣にはむかぬ様ですそれで私の考へて居る所の浴槽を木で拵へて細長くし底部に傾斜をつけて湯が少くとも臥乍ら肩の邊までくる様にし今一息温りたい時に熱くする様にするのであります而して流しは矢張つけて一人々々取り替へるのも餘り不經濟ですから矢張り別に上り湯を用意するのであります一躰西洋で一人々々取替ふるのは浴室内に流し様のものがなく浴槽と便所と同居して居る關係上外で流ふ譯にゆかず自然浴槽内が不潔になる事が多いからではなからうかと思つて居ますが如何でしようか。

便所は西洋式の方が大躰に於てよい様に思ひますがこれは人による事と思ひます自分の聞た範圍は西洋風に腰を掛けると何うしても用を便する譯にゆかぬと云ふ人が可なり多くありますそして亦便器に體が觸れる爲皮膚病の感染をしたといふ實例も聞きましたし冬などは假令へ木などに觸れても冷くて最初は一寸嫌な氣持もする事は事實でありますから缺點も明であります。して見ると其唯一の取扱は水洗式といふ事になりまして其以外は人により多少好みが異ります。

藤井君の實驗したといふ便器の後方を低くし而も滑らぬ様にしたものは寔に面白かり様でありますが不幸にして實物を見ないから何とも言へませず亦腰掛式としやがむ式とに就て今少し多勢の人

の意見を訊いて見て考へたいと思つて居るから便器の形に就ての說は暫く見合して置きますが水洗式丈は早くやり度いと思つて居ます。

第十の普通住宅に於ける床の間の數を少くすることは賛成である併し全廢することは不賛成で例へ釣床でも矢張床の形式を備へたものは存在したいと思ひます成程いかものゝ書畫を掛けて心の卑しさ敎養の拙さを來客に披瀝する嫌なきものもなきに非ざるもそれでも本人から言へば矢張相當興趣を有つて居る譯で一面から見れば日本の美術國たる所以も其處に胚胎し培はれるのであるし謂はゞ一種の美風であるとして見ればこれを滿足せしむる設備をなす事も亦必要でなからうかと思ふのであります。

一體床は大きな面積を取るものであり又これを多く造るから建築費も高く物置同樣にも扱ふが其家相應のものにすれば左程問題も起らざる事と思ひます要は床の間を何とか合理的に改良したらよい事であつて物置同樣にするからといつて全廢するにも當らないと思ふのであります。

それから最後に引出されたのが暖房設備の事であります事務所などには暖爐よりも溫水設備の方がよい事は明でありますが何れの家庭にもこれを採用するといふ譯には行きませぬそれで小家庭抔はどうしても別の方法によらなければならぬが自分の考へとしては暖房設備よりも寧ろ外部の冷い風の侵入を完全ならしめる事が先決問題ではなからうか即ち構造を最今し進歩させて室內の溫い空氣を多く逃さず外氣を餘り侵入せしめぬ—換氣の爲必要な程度以上に—樣にしたら何分この問題が解決される事だらうと思つて居る特に安目の借家普請と來たら建具の建合せすら滿足に出來ないものが多いのであるからいつも外で居るのと大差なくこれで暖房の事を言ふのはちと亂暴かと考へられる位でありますから何としてもこれの方が先だらうと思ひます實際日本は比較的溫いのであるから所によつては暖房の必要もない位であり關西地方の大阪附近では家屋の外壁を注意したならば或は從來通りの造り方でも間に合ふかも知れないと思つて居るそして同じ暖房をやるにしても竈の餘熱を利用してやる樣な工夫をすれば一層面白からうと思ひます。（畢）

實費加算報酬式（コスト・プラス・テン・パーセント）の請負契約に就て

會員　株式會社大林組取締役　松本禹象

從來我國に於ける工事請負の方法は、官署又は民間の別なく、競爭入札に依る總額請負契約を採用し來れり。而して、斯の方法は、多くの場合に於て、其依託者と請負業者の利害相反し、延ひて種々なる弊害と罪惡の相伴ふことを免れ得ざるは、吾人等當業者の甚だ以て遺憾とする處なり。されば、今此處に、工事請負に關する實費加算報酬制度に就き、吾人の所思を披瀝して、敢て、讀者の高見に質さむとす。

□實費加算報酬式の起源

歐米各國に於ても、建築工事の請負に關して、從來一般に、總額請負の方法を採り來れり。然るに、歐洲の大戰は、凡ゆる方面に多大なる影響を及ぼして、遽に諸物價の暴騰を來し、勞銀亦隨つて急激なる昂騰を告ぐるに到り、其波動は、竟に工事請負業者をも襲ふ處と成りて、其影響の及ぶ處實に深甚なるものありき。されば、工事請負業者は、從來の如き總額請負契約の方法に藉りて、工費の保障義務を負擔するは、寔に危險なる契約方法たる所以を覺ゆるに至れり。されば、米國に於ては、契約委員會を組織して、其指導の下に、請負業者の組合に於て研究討議の結果、茲に、『實費加算報酬式』なる契約方法を創案し、爾來、同國に於ては、一般に斯の方法を歡迎し、現今に於ては、弘く斯案を實行されつゝある狀態にして、今日にては、纔に、官署又は小工場の少數を除く外、總額請負方法は自然に廢止されるに到りき。而して、實費加算報酬式の契約方法は、依託者及び請負業者相互の利益を圖るに出で、獨り請負業者側の利益を期するに非ず。卽ち、單に、契約後

物價騰貴せる場合を考慮せば、總額請負契約は、依託者に利益なるが如く思惟さるゝも、若し之れに反して、物價下落の場合は、竟に、依託者の損失たるを免れざるなり。されば、件の實費加算報酬式なる請負方法に據らば、物價騰落孰れの場合に於ても、依託者と請負業者間に利害相背馳することなく、寧ろ相互の利益を確保する合理的の方法なりと謂ふ可し。

□實費加算報酬式の要旨

斯の契約は、本來、請負人の技能、正直、及び責任に關する信用を基礎とするものなり。今、其方法を概説すれば、依託者、監督技師、請負人の三者が、隔意なき圓滿なる協調の下に、請負人が材料の購買、勞力の使用等、凡て懸引なき實際の元價を以て注文者に提供し、技師の作成したる圖面、設計書、仕樣書に基きて、忠實に業務の執行を圖り、完全なる建物を、最も迅速に、最も廉價に完成するの義務を有す。而して、依託者は、請負人の工事施行の勤勞に對する全代償として、一定の利益報酬、若くは、實費に對する歩合の報酬を支拂ふ。而して、其歩合の額は、米國に於ては百分の十、卽ち實價額の一割を以て普通の標準と做し在り。

□實費加算報酬式と總額請負法の得失

總額請負なる從來の方法に於て、指名入札の場合は、請負業者の資力、技能、誠實等の責任に關する信用を考慮せらるゝとあるも、一般の公入札等に於ては、單に、其者の營業稅額、乃至三年以上當業に從事等の經歷上の資格を制限さるゝのみにして、其者の實際の信用奈何は、敢て顧られざるものゝ如し。而して、其落札の決定に就ては、專ら工費額の競爭を主とし、普通最低額を以て標準とするが故に、營業上の立場より互に競ふて値引を爲し、場合に依りては、實費額を切り込むをさへ意となさゝるの弊往々にして在り。其結果は、工事施行に方りて、其損失を補塡せむ爲又は利益を收得せむとに熱中して、自然に、工事實施に方りて粗漏と成り、或は、監督者の眼を掠めて不正なる工事を爲す等、往々罪惡の伴ふを免れず。然るに、近來に於ては、請負業者も相當に人格

の向上を來し、施業の成績佳良と成りて、斯る弊害は一般に減少せりと雖とも、未だ、其弊習の全然除去されたりとは、思考し能はざるなり。斯る狀態なるが故に、依託者側に於ても、請負者側に全然の信用を置くこと能はず、依然監督技師をして嚴重なる監視を爲さしむるの必要を生ずるなりされば、監督技師も亦、請負業者は一般に惡いことをするとの前提の下に、努めて嚴重なる仕樣書を作成し、是を以て請負業者を制裁せむとするの傾向あり。又、監督員が工事材料の檢査に方り、豫算書に示す程度以上の價格物を要求し、斯くて工事施行上監督技師と請負業者間に感情の疎隔を來し、兩者間の圓滿なる折衝を見ること能はざる場合少しとせず。又依託者側に於ても、唯其工費の廉ならむことをのみ希望し、たとへ、其見積額の極端に低廉なるものありと雖も、其最低價額を以て契約を遂行し、而して、一旦开が契約成立したる後は、其請負人に對して、工費額以上の代償物を要求するの傾向あり。而も、物價騰貴其他の正當なる理由に依りて損失あるも、彼れ依託者は之を措いて顧みざるの實狀なり。扨てこそ、請負業者としては、工費の保障を爲す必要上、自然、工費額に餘裕を見積るべきも、競爭の結果已を得す、出來得る限りの最低價額を以て入札するの狀態なるが故に、物價騰貴の場合は、遂に多大なる損害を釀すの狀態に陷るを免れ得ざるなり。斯くの如きは、勿論、請負業者の罪なるも、依託者亦其責任の大半を負擔すべきにあらざるなきか。大體、依託者は、自己の投下せる資金に對し、其代償として、實質の之に相當すべき建造物を要求するものにして、請負人に損失を與ふる迄もヨリ以上の代償物を要望するは、勿論道理の容さゞる處なり。請負業者側より之を考ふるも、依託を受けて其營業上の職責を完全に竭し乍ら、其職業上の勞務に對して、何等の報酬を得ざるの道理あるべきに非ざるなり。況や、自己の外に、自己より資金を投下して損害を補塡するに到りては、甲より得たる利益を以て、乙の損失を補償す、是をしも不合理に非ずして何ぞや。

斯くの如き狀態なるが故に、重大なる工事の施

行に方りても、工事を完全に施行することは、頗る困難事たるを免れざるなり。故に、依託者及請負業者間に、自家の生命財産を保護すべき建造物を、斯る薄弱なる信用の下に依託するは既に根本に於て誤れり。故に、吾人は、斯の意味に於て、總額請負式の缺陷甚だ多き弊害に顧み、是に代ふるに、信用を基礎とする『實費加算報酬式』を弘く普及せむとするの希望を有す。斯の點に於て、吾人は、小笠原氏が、曩に本誌に於て述べられたる處に、多大なる共鳴を禁じ能はざるなり。請負業者の立場として、單に利益を擧ぐることのみを以て目的とするならば、却つて『總額請負式』を欲せむ、されど、吾人等請負業者は、本來投機的の營業者に非ず、即ち、確實なる營業を圖ると共に薄利に甘ずる者なり。又單に自家の利益の立場より之を述ぶるにあらず、一面に注文者の利益を尊重するの誠意に出づ。斯の實費加算報酬式に據れば、注文者及技師は、工事の施行を依託するに方りて、凡ての點に優秀なる請負人を選拔し得て而して、斯の三者は圓滿なる了解の下に、協力一致して事業の遂行に膺り、材料の購入、職工の傭役、工事施行等に就て、互に協調を遂げ、良質の材料を調へて、比較的安價に完成し得るなり。隨つて、斯の場合に於ける請負人の位地は、注文者に對する監督技師の場合に等しく、即ち工事施行の支配人なり。若し請負人の受くる報酬を、一定額に協定したる場合には、注文者の利益と相容れざる經濟上の煩累より免れ得べし。即ち注文者に對しては、全く利害關係無き一種の顧問者なり。請負人は、從來の商賣的氣分を捨て、專ら信用を基礎とせる斯の組織の下に、三者共同して、圓滿に工事を完成せしめば、三者の利害も亦共通にして相反することなし。されば、吾人は、斯の合理的な請負方式を推奬して止まざる所以なり。

我國に於ては、一々昨年頃、米國のジョウジ●エー・フラー●カンパニーなる建築請負會社が、件の方式により、初めて日本郵船會社の建築工事を請負へるを以て嚆矢と做す。次いで、日本石油會社、三菱丸の内ビルデイングも、亦同樣なる契約方式の下に、目下現に施工中に係る處なり。又我

●建築材料規格見本品陳列通知

建築材料聯合調査會作製ノ建築材料規格（木材及煉瓦）見本品全部本協會事務所樓上ニ當分ノ間陳列致置候間日曜日ヲ除キ午前九時ヨリ午後四時迄ノ間ニ於テ隨意御觀覽相成度候

大正十年七月

日本建築協會

懸賞改良住宅設計圖案審査員決定

目下懸賞募集中なる改良住宅設計圖案審査員は左の如く決定せり依つて之を發表す。

（イロハ順）

池田　實氏　　西村伊作氏

工學博士　片岡安氏　　葛野壯一郎氏

竹腰健造氏　工學博士　　武田五一氏

宗兵藏氏　　波江悌夫氏

村島理平氏　　松本禹象氏

大林組に於ても、最近、大阪の日本信託銀行、東京興業銀行の建築工事、信越水電の土工々事も、件の式に據りて請負を爲し、目下等しく施工中なり。斯くて日本に於ては、件のフラー會社に次ぎ我大林組が斯式を採用せる權輿を有するの光榮を荷へり。されど、斯の『實費加算報酬式』の內容及特徴は、未だ弘く世の一般に認むる處とならず注文者、技術家、又は同業者側に於ても、之を主張し希望する者少きは、亦以て吾人等の遺憾とする處なり。斯の方法は、我等請負業者側よりも、却つて、注文者側に利益の大なるが故に、歡迎さるべきものなるも、弘く之を採用されざるは、未だ新しき方式なるを以て、其內容の研究と了解なきと、而して、一面に、施行工事計算の複雜なるに因るならむと思惟す。されど、實際に之が組織を立てゝ實行せば、必ずしも複雜なるものにあらざるを信ず。されど吾人は、漸次套舊より脫して時代の推移と要求に依り、斯式の弘く採用されむことは、敢て遼遠なる將來ならざるべきを信ずる者也。

◆天下の正位

天下の事は恰も不倒翁の如し、何れの方に之を輕ずるとも、後には必ず其正位に復す。（エマアソン）

◆生くる道

生くるとは呼吸にあらず、爲すの謂也。（ルッター）



（研究）

セメントの凝結緩和作用

工學博士　細木松之助

セメント製造法の進歩するに從ひて其凝結を緩和する事は、增々其必要の度を高め來れり。其故は舊式の固定窯にて燒成せるセメントは、比較的緩結性なれ共、新式の回轉窯にて燒きたるものは、凝結急速なるが故に、適當なる方法によりて之を緩和するにあらざれば、其使用上に大なる不便を感ずるのみならず、使用の後の成績も亦安定ならざるを以てなり。

セメントの凝結を緩和すべき方法を分つて二とす。即ち、其一は、從來より一般に行はれたる風化法にして、其二は、少量の緩和劑を加ふるにありて、此緩和劑としては、普通に硫酸石灰を使用すれ共、其他種々なる鹽類を使用することありて、ローランド氏の實驗によれば、鹽化カルシウム、鹽化アルミニウム、硫化ポタシウム、炭酸曹達、炭酸加里、硫酸アルミニウム、及び明礬は、凝結を急速ならしめ、重クローム酸加里、硼酸、硼砂、硫酸曹達、硫酸加里及び硫酸石灰は、凝結を緩徐ならしむ。又通常の風化法と稱して、セメントを空氣に曝露することは、結局セメントを濕氣に露らすと

となるもののゆへに、晩近に於ては、其代りに、蒸汽を用ひて良好なる成績を得たり。之れセメントの一部に、加水作用を起こさしめて、少量の水酸化カルシウムを遊離せしむるものなり。故にクリンカーを蒸汽に當てゝ、約一ペルセントの水分を吸收せしむる時は、斯る處理法を施行せざるものに比して、凝結緩和の爲に要する硫酸石灰の量は約二分の一にて足るものなり。

セメントに於ける硫酸石灰の作用は、尙未だ詳かならずと雖も、僅々二三ペルセントにて足るものなるが故に、其大部分は、恐くは觸媒作用なるべし。而して、各種の鹽類が、其少量を使用すれば凝結緩和の効あれ共、多量に之を加ふる時は、却つて凝結を急速ならしむる等、要するに、斯の問題は尙充分の研究を遂げたる上ならでは、容易に決定し能はざるものなりとす。

佛國に於ける斯道の大家カンドロー氏の說によれば、セメントと硫酸石灰の作用によりて、左記の如き復鹽即ち $3CaO.Al_2O_3.3CaSO_4.30H_2O$ を生じ此物は、水に不溶解性なるを以て、礬土酸鹽を化して、凝結作用に有効ならざるものたらしむと云ひ、斯說を承認する人尠からずと雖も、事實の之に一致せざるものあるを遺憾とす。而して、之よりも穩當なる說明としては、硫酸石灰は其溶解性微弱なるを以て、忽ち飽和液となり、此飽和液となるが爲に、セメントの加水作用を防止して、石灰の遊離し且溶解する事を極少量に極限するものなりといふ。而して、右二說中の孰れを採るにしても、茲に不可解なる事は、鹽化カルシウムの如き溶解性大なる鹽が、硫酸石灰よりも強き緩和力を有するにも拘らず、鹽化マグネシウムは却つて凝結を速かならしむるに在り。而して、其意味は他にあらず、即ち、此緩和作用を生ずべき要素は SO_4 及び Cl_2 等の如き酸根にありて、此等酸根とセメント分子との間に於て一種の結合を生ずるにあるべし。現に、硫酸鹽の溶液殊に海水が其中に沈下せられたるセメント塊に崩壞作用を生ずるは此硫酸根 SO_4 とセメント分子間に化學作用を生ずるを證明するものなり。

本誌五月及び六月號に於て畧述したる如く、ポル

トランドセメントの構造式が事實に合するものならば、其分子中に在る二個の OH 根は、(SO_2OH) の如き一價の酸根を以て容易に置換へらるゝものなるを以て、斯るセメントが、硫酸石灰の溶液と相接觸する場合には、斯る置換作用によりて、礬珪酸塩の生ずべきものなりと信ずべき理由ありて、又實際に於ても、多數のソーダライト及び群青の之を證するに足るものあり。而して、此置換作用に伴ひて、容積の變化を生ずべきものなるを以て、若し此容積の變化にして稍大なるに於ては龜裂又は崩壞を生ずべきものなり。

硫酸石灰のセメント凝結緩和作用は、セメントを貯藏する時日の久しきに從ひ、又は之を風化せしむるに從ひ、減退するものにして、其理由の說明としては、硫酸石灰及び水の作用によりて遊離せしめられたる石灰が、徐々に炭酸と結合するに在りとすれ共、尙其外にも、貯藏若くは風化の間にセメント硫酸塩との結合も、亦其一因たるを失はざるべし。

硫酸石灰をセメントのクリンカーに混和するには通常石膏を使用し、クリンカーと共に粉末となすものなれ共、細末となせる石膏を、セメントの粉末に混和する事もあり。然れ共、斯る場合には、燒石膏の方が、生石膏よりも微細末なるを以て、之を用ふるを可とす。又、所要生石膏若くは燒石膏の分量は、其中に含有せらるゝ硫酸石灰の量、並に粉末の細粗によりて決定すべきものなりとす。

急結性のセメントに、二乃至三ペルセントの硫酸石灰を加へたる試驗の結果は、頗る不規則にして之より推論すれば、硫酸石灰の作用は、通常吾人の豫想する如き單純ならざるものにあらざるを知るべく。又此不規則なる現象を生ずる原因の中には、セメント其ものゝ成分に不同あるが爲にもよるべく。又緩和劑の混和の均等ならざるにもよる事あるべし。而して、其原因の何たるに拘らず、斯る緩和劑を混和するの不便不利なるは、最も看易き事なるを以て、其混和量は可及的少量に止むべきものとす。

セメントを空氣に曝露する事即ち風化せしむる事

は、其間に於てセメント中にある遊離石灰を水酸化物に變化せしむる等の作用により、其凝結を遲緩ならしむるが故に斯の方法を以て一の緩和劑と見做す事を得べく、斯くして、遊離石灰を水酸化物となすを以て、セメントを使用したる上に於て石灰の爲に膨脹し又は龜裂を生ずる等の害を除くものとす。

風化中に生ずる變化は、セメントが水によりて受くるものと同一なれ共、空氣中に存在する水分は極めて少量なるを以て、因て生ずる變化も、從つて遲緩なりとす。又空氣中に存在する炭酸は、水酸化物となれる石灰を變じて、炭酸石灰の微細なる結晶と成し、斯くて、全く不活動的物質に變じ去るなり。

セメントを風化する事長きに失する時は、セメントとしての効力を減殺するものにして、其原因はセメント成分中にて最も有効なる微細粒子を水酸化し、又は炭酸化するに在るなり。

往時は、セメントの風化によりて、其中に在りし生石灰を水酸化せしめて、極微粒子と成し、以て膨脹龜裂等の害を去り、即ち、風化によりてセメントの品質を改良したれ共、現今の如く進歩せる製造法によりて造れるセメントは、風化によりて其品質を優良ならしむるものにあらず。然れ共、セメントを試驗して不良の成績を示したる場合には、數日間空氣に曝露して、更に之を試驗すれば多くの場合、最初の試驗に於ける如き不良の成績を示さゞるに至るを見るべし。

蚊帳に見ゆる夜ふけの
風の冷きにこゝろ覺め
居れば蚊のなく聞ゆ。

◇◇ 請負人の注意すべき權利義務 (中)

修身賛助會員　有山福重郎
辯護士　瀧本貢　編

法は日常生活の規矩にして諸般の事業に從事する者一として法の必要を感ぜざる者はないのであります、之れ、即ち法治國民として、洵に當然の所以であります。然るに世人の多くは今尚舊套の陋見を有して生兵法は大怪我の基てふ域より脫せず、法律問題が起れば自家の利害休戚に關するものなるにも不拘之を專門家に托し、生殺與奪の權を與へて顧みざるが如きは私の最も不本意とする所であります。而して既に時代は職業の分科を要求しつゝあるが故に、法律問題も亦其專門家に委して可なるが如くでありますが、私は寧ろ其問題の惹起を未然に防ぐの意味に於て、自家の職業に就き分業的法律理解の必要を高唱せんとするのであります。

近世文化の進運に依り、都市計畫に伴ふ文化的生活を唱導する智識階級者多く、從て私の職業も又刻々繁劇を加へんとする此秋に方りまして、各其職業に就き法律的理解の有無は其便否利害の差、奈何許り大なるかを感ずる次第であります。淺學菲才の私、烏滸ケ間敷くも思を茲に致しまして、舊友辯護士瀧本貢君に囑し、先以て自己專業の請負契約論を草せしめたのであります。行文往々難解の點なきにあらざるも、其所論に至りては、獨斷を去り、學理に拘泥せず、專ら判例を主とし、一般是認せられたる學說を以て補ひたる等、周到なる研鑽は之を信じて謬りなしと思料致します。唯人事の繁劇なる百般の請負事業に就き、其解決の關鍵たるには量に於て乏しき感なき能はざるも、庶幾本文を以て私等同志の伴侶ともならば、敢て私の幸ひのみにあらざるを思ふのであります。（有山再記）

第二章　請負人の權利

第五　引渡を要しない仕事の報酬支拂時期例へば壁を塗る仕事の請負の如し此の場合は報酬後拂の原則に依つて仕事が出來ると同時に請求が出來る同時履行の抗辯權や留置權を有しない事は引渡を要しない此種の仕事の性質上明かである

第六　注文者が仕事の目的物を受領しない場合はどうか。

目的物の受領は注文者の權利であつて義務でないから請負人は其受領を強制する事が出來ぬ依つて何時でも引渡すからと云ふ通知を出して置いて報酬の支拂を請求するがよろしい。

第七　請負人は注文に協力を求める事が出來るかこれは出來ないのである特約が有れば兎も角もであるが凡そ請負契約で注文者の義務は報酬の支拂義務だけであるから事實注文者の手傳を必要とする場合であつても特約なくば請負人に於て之を果さなければならぬのである。

第三章　請負人の義務

請負人は民法第六百三十四條乃至第六百四十條に隨ひ注文者に對て擔保の責任を負ふつまり請負契約の要素は仕事の完成にあるのであるから不完全の出來榮に對しては其責を負ふべき事蓋し當然である。

第一　瑕疵修補の義務とはどんなものか。

民法第六百三十四條の『仕事の目的物に瑕疵ある時は注文者は請負者に對し相當の期限を定めて其瑕疵の修補請求することを得但瑕疵が重要ならざる場合に於て其修補が過分の費用を要する時は此限にあらず』と云ふ規定から此義務が發生するので條文にもある通り瑕疵が輕微であつて其修補に過分の費用を要する時は此の修補義務は無く單に損害だけ賠償すればよろしい。瑕疵とは一言にして云へば工事の不完全な場合で外部から見へると否と又請負人の過失の有無を問はない。

此權利は注文者に於て拋棄することが出來るかただ單に目的物を異議を留めずして受取つたといふ事のみでは此權利を拋棄したといふ事が出來ない。

（イ）　注文者が瑕疵の修補を請求せずして報酬の支拂を拒絶出來るか。

大審院の判例は出來ないといふ事になつて居るつまり判例の趣旨は注文者が仕事に難癖をつけて報酬の支拂を遲滯する事を防いだものであらう學者の中には之に反對する者もあるが私は判例の見解を正當と信ず併し注文者が瑕疵の修補を請求したら一應は仕事が不完全と見るのが普

通であるから其結果に對する報酬は支拂なくとも宜い事になる。

(ロ)瑕疵が重要であるかどうかを何に依つて定めるか。

此問題の實益は前にも述べた樣に瑕疵が重要でさへあれば費用が過分に要するの否とを問はず請負人は瑕疵修補の義務あるに反對に重要ならざる場合其修補が過分の費用を要する時は損害賠償義務のみで修補義務が無いからである而して瑕疵が重要なりや否やは單に注文者が重要なりと認むるのみを以て足らず第三者の立場から公平に觀察すべきであるそして費用が過分であるかどうかは修補に要する財産的の損失と修補に依て生ずる移益等を比較して決定すべきである。

第二損害賠償義務

之は民法第六百三十四條第二項に『注文者は瑕疵修補に代へ又は其修補と共に損害賠償の請求を爲すことを得』との規定から生ずる義務である。

(イ)つまり目的物に瑕疵ある場合に修補を請求すると賠償を請求するとは注文者の自由であることを明かにし(ロ)瑕疵の修補を受けても別に損害ある時は其損害の賠償も請求出來ると云ふ意味である前段は修補を受くれば損害無き場合に其修補に代へて賠償の請求を選擇的に出來るし後段は修補を受くるも尙損害ある場合の要償權を附與したものである。

第三契約の解除權

之は注文者の權利である民法第六百三十五條に『仕事の目的物に瑕疵有りて之が爲に契約を爲したる目的を達すること能はざる時は注文者は契約の解除を爲すことを得』との規定から生ずるのである。

(イ)輕微なる瑕疵では契約の解除が出來ないか。

私は出來ないと信ずる一部の學者の中には出來ると云ふ學者もあるが私は多數の學者と共に之を否定する本條は特別規定であつて條文が己に『契約を爲したる目的を達すること能はざる時』と言明して居るが瑕疵の重用なることを要する

と信ずる。

(ロ)修補が可能なる場合でも注文者は解除が出來るか。

私は前の瑕疵修補の請求權との關係上一先づ相當の期限を定めて修補を請求した後でなければ解除が出來ないと思ふ併し(一)修補に過分の日子を要する場合(二)修補が不能なる場合は直に解除が出來るのである。

(ハ)仕事の目的物が建物其他工作物である時は例へ重要なる瑕疵が有つても解除が出來ない。之は民法第六百三十五條但書の規定から來るもので請負人を保護したものである從つて此規定は强行法規といつて當事者は之を排除する特約を爲しても無効である。

(ニ)目的物の瑕疵が注文者の材料指圖より生じたる時は請負人は無責任であるたゞ請負人が其不適當な事を知つて告げなかつた場合は責任を負ふ事になる之は民法第六百三十六條『注文者より供したる材料の性質又は注文者の與へたる指圖に依りて生じたる時は之を適用せず請負人が其材料又は指圖の不適當なる事を知りて告げざりし時は此限りにあらず』との規定に徵して明かである。

(ホ)請負人の無擔保及責任輕減の特約は有効か。

原則として有効であるが民法第六百四十條に有る通り『知りて告げざりし事實に就ては其責を免れる事を得ず』

(ヘ)請負人の擔保責任の存續期間。

原則として一年で目的物引渡を要しないものは仕事完了の時から起算し民法第六百三十八條にも有る通り土地の工作物又は地盤の瑕疵は引渡の後五年間石造土造煉瓦造又は金屬類造の工作物に就ては十年である之等堅牢なる工作物に就て長期間の責任を認めたのは其瑕疵の發明が困難なからであるだから其瑕疵ある事が明瞭になつた場合に責任を伸長すべき理由は無いそこで民法第六百三十八條第二項に『工作物が瑕疵に依り滅失又は毀損したる時は爾後一年間内に於て權利を行使することを得』と云ふ規定がある所以である。

(ト)擔保責任期間の變更が出來るか。

短くする事は差支ないが民法の時効期間を越へることが出來ない即ち十年を以つて最高限度とす。

第四章　請求の終了

民法第六百四十一條にある通り『請負人が仕事を完成せざる間は注文者は何時にても損害を賠償して契約の解除を爲すことを得』此場合は請負人は賠償を受けるから損害が無い注文者も自己の欲せざる請負人をして仕事を完成せしむる事より免れるから單に仕事を完成しない間と云ふ要件のみで此解除を認めたのであるだから大審院の判例も請負人に過失あることを要しない事になつて居る。此場合解除の方法は單純な意思表示のみを以つて足り後から請負人より損害の請求を爲すことに判例と學說もなつて居る然し私は實狀に鑑み注文者が此解除をしやうと思へば請負人に支拂ふ可き損害の提供を爲さねばならぬと考へる之は少數說ではあるが勞務者を保護すると云ふ點に於て正當であると考へる。

其他注文者が破產家資分產の宣告を受けた時は雙方から契約の解除が出來る此場合は實費の外は損害の賠償を請求することが出來ないとは民法第六百四十二條に規定されて居る。（畢）

眞實は萬事の根本なり。一切のオカの最大要素なり。



將來の『都市』

『市加古市』(15)

ウオルター・デイ・ムウデイ著
Z Y 生譯

第十一章　市加古人と市加古の事物

最大の計畫案の搖籃　(3)

（五）　（つゞき）

種類は異つても市加古市にある幾百の機關組織は、殆ど凡て斯る精神と狀態にある。公人、記者敎育家、技術家、演說者たらんとして非常に要求してゐる。だが供給よりも需要の方が多いので應じきれぬ。それでこの方面に奉仕す可く求められた者は、非常な責任を感ずる。又之れ等の機關組織の大抵のものは、その會員が商業會議所の會員となつて、その個々の會員によつて己の團體の文化的利益をこゝに表現してゐる。苟も市といふ名にふさわしい名實を具備して居る市は、いづれもかくの如き中心となる實務的、文化的機關組織をもつて居る。併し自分は信ずるが、米國のいづれの都市の商業會議所も、市加古のそれの如き能率と感化を有するものはない。幾度も模倣したが、一つも對抗し又優り得たものはない。すべての委

員會が組織せられ、開かれて行く樣は眞劍にして科學的で、凡ての堅實なる市民が皆嘆美し感謝する處である。その協會の政策は即ちその階級の凡ての實行者、働き手にとつて宗教となる。自分は考へてゐるが、市加古市商業會議所は世界にある同種類の他の組織のいづれとも異つて居る。市の實業界の指導者の中から選擧した會頭は、就任するにさきだち、選擧者等から何を期待されてあるかを知つて居る。選擧人は被選擧者の名聲や位置を見て選んだのでなく、その仕事に對する能力—精神的智的の努力—を見て選んだのであることを知つて、その知遇に背かざらんことを期する。その會頭もその機關組織のために己を犧牲としてゐるが、これが市の幸福に大なる貢獻をなし、市その物の性質に耐久力ある貢獻をする。國民は、毎週開かれて居る商業會議所の計畫方策委員會が平均四百五十八人の出席者のあることを知つてゐるその議長もその會頭も同じタイプの同じ才能の人である。『奉仕—能率、方策、犧牲』—これが眞にこれ等の驚く可き團體の人々の標語である。その感化は國民の中に跡をとゞめ、海を超えて歐洲に迄波及する。

（六）

市加古市に於ける市の文化的良心の目醒めは、一九〇三年市加古商業會議所の設置に始る。喚起せる市の文化的良心の無き場合は、大抵の潛勢力ある市は舵なくして嵐の中にある船に似てゐる。市加古市は若い。その市の文化的疾患の大抵は、成長しつゝある諸々の苦痛に原因してゐる。これは勇敢なる青年にとりては、彼の强壯を表す象徵である。七年目にしてインディヤンの卑濕なる商業上の一地點から、百七十五萬人の一市となるの道を作出した。かくなつた時、市は商業上の優越の探究から休止して、如何に市自らが正しき位置にあるか、如何にしてその疾患を治療し市將來の運命を確實にし得るかこのことを知るために、周圍を見廻した。市民は六十年間（大部分は貧民のためであるが）家族の安全を計るため、商業の下に確實なる立脚地を造るために從事した。かくして彼等のより大なる家庭—市—とその幸福とを重

じ始めた。その瞬間から市加古市の進歩は眞に驚駭すべきものがあつた。市の理想は定り世界の大都市中に於けるその位置は確實となつた、最大都市としての未來は爭ふ可らざる樣に建てられた。

凡そ價値ある要素は何物でも閑却しておかない科學も藝術も進歩した、その教育制度は富豊になり世界的の特色を有するに至つておる。その宗教的生活も活潑になつた。社會的奉仕の努力も全市に行き渡つてゐる。だが市の生活に於て、それ等の目的に達するに、宏大な一定の組織たる市加古市の商業クラブ程有用なものはない。この商業クラブの事業と感化とを熟知して、その宏大な奉仕とその人員の著しい特質とを記すことは何人にとりても困難である。商業クラブは感化の巨大なる人々の著名なる群である。かゝる群の人々は世界の何處に行くも大なる感化を有する。諸君が市加古市一流の銀行家、鐵道執務員、製造業家、商業家、新聞發行者、資本家等百人を選み出すならば即ち諸君が百名の各方面の活動家たる世界的指導者を選んだことゝなるのである。かゝる群を社會的に組織し、唯團體の進歩のために集中せしめば市の文化生活の進歩改善に、計る可らざる勢力を發揮する。かゝる財産を誇り得る市は、大なる市小なる市、いづれに拘はらず、幸福なる市と言はねばならぬ。

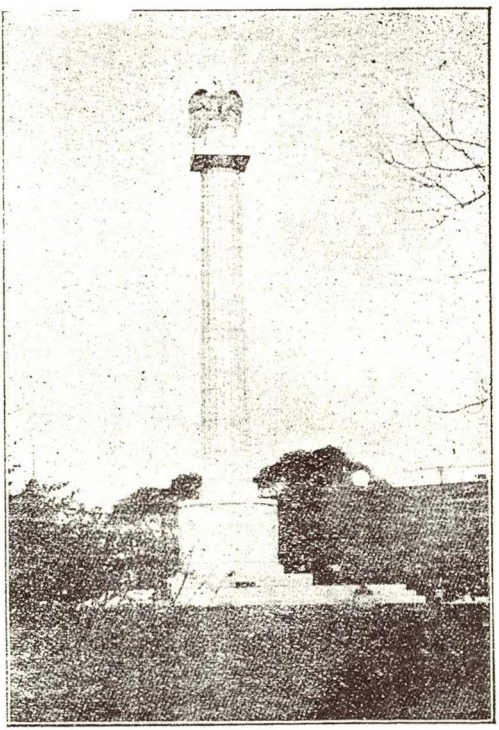
十二章　市加古市の人物と事物

（一）

市加古市を描寫するには如何に描寫す可きか自分には解らぬ。之れを企てた記者は、何人も自分と同一の困惑を感じたであらうと思はれる。そして今でも自分には如何に描く可きかゞ判つて居らぬ。恐らく唯、輪廓に全躰を髣髴させる文人畫的の描き方が好いと思はれる。美術家にして未だ完全に有効に、カンバスの上に現したと思はれる者は一人もない。自分が初めて市加古市を見た時には、その巨大な大膽な有樣に膽をつぶした。しかも自分は小さな都會からこゝに來たのではない倫敦も紐育も巴里もこれ程の感動を自分に及ぼさ

なかつた。伯林――この市が先づ市加古市のそれと比較し得べきものか。その成長と形態的發展に兩市は酷似せるものがある。市加古市を建設した突進的精神が、又伯林をも建てた十五年若しくは廿年前には、米國の歐洲旅行者は唯實務方面の人々のみが獨逸を訪ねたのであるが、大戰の開始と共に、此方は米國漫遊者のメッカとしての巴里と同程度の人氣を得てゐた。これ伯林が過去十數年間に、駭く可く又魅力ある發展を遂げた結果である、だがこれは別の問題である。

旅人が一度び市加古市に入るや、形に現し得ず口筆にも現し得ぬ市の精力の或物に摑へられる。唯一つこの精力を示し得るものが、確實に判つてゐる――だが家畜置場のことを言ふのではない。市加古市に就て何か書く人は殆ど誰でもが、『荷造りの都市』と思はせ得るこの家畜置場に就て影くし書いてゐる。旅行をしない或人々などは、この家畜置場のことから、八十年前に住で居たアメリカ印度人たる市加古市民が、今でも生活してゐるのだらうと考へるのだらうと考へ豚の屠場は唯一の企業でないことを理解することが出來ず、又アメリカ印度人も最早昔の如く、ステイト街、アディソン街の隅に住むトマハウーク人（彼等の使用する一種の鉞）でなくなつたことを理解することが出來ぬ。とは言へ家畜置場は驚嘆す可き



大「四十哩」公園に於けるロンガン
スエクアエイリノイス百年祭紀念碑

制度である。どの市でもかゝる産業を有せば、これを誇りその生む利益を幸福と思ふ。家畜置場に就て自分が言んとする處は、市加古市を造つたその精神を遺傳せる代表的市加古人、市民三百萬人に様々に現れ居るその精神の典型、この最大なる一個の業務の總理のとに就てゞある。彼は市加古市に忠誠にして、その富は、幾千の勞働者、商人の夥しい數を富ませ、市加古市に殘つてゐる。この人こそ、家畜置場事業の前の鑵詰業者でありしゼイ・オグデン・アーモーアである。彼の父フィリップ・ディ・アーモーアは、市加古市の大にして勇敢なる開拓者であつたが、アーモーア工藝學院を建てた。我國に於けるこの種類のものゝ中最善の制度であると認められて居るも、其志が有爲なる青年を援助せんとするにある處、正に我國の如何なる公立の制度の中最も高尚なものゝ一である。アーモーアの中に混じてゐるこの富と公共精神の誇は、市加古市と米國にとりて、計る可らざる祝福である。先づ諸君が諸君の都市の理想家に就て語られよ、自分は今米國の諸都市を旅行して調べ到る處の人物を觀察するの機會を有してゐるが、その一流の實務家の中に市加古が有する程多くの理想家を有する都市は無い。市加古市の事業を述ぶれば、或程度迄この市の巨大なる人物と自然接觸して來ねばならぬ様のとになるゞその公衆福利のための制度（藝術にせよ科學にせよ、學校にせよ、大學にせよ）重要なる人物が直接に接し身親しく關係し同情してあらぬものは一もない。その重要なる人物の一人―この人は一年一億弗の收入ある或事業の頭であつた弗商人―更に彼の殘の半生を、從來よりも一層市の文化と敎養とのために盡すべく六十歳の時その職を辭した。彼の趣味は美術にあつたが、併し五十歳以上になる迄は、繪筆を握つたとはなかつた。だが或美術の中心である都會にアトリエと小美術館を設けた。そして繪畫に熱中し遂に巧みなる價値ある繪畫を作り、又美術館を公開し得る程に著名の繪畫を蒐集した。又米國美術館のパトロンとして、そこに特別の室を寄附し、又米國に最も著名の一人の美術家の作品をそこに蒐集し、其價額十五萬弗に上つてゐ

る、これ市加古市の指導的實務家の活動、理想、感化の最も好適の實例である。

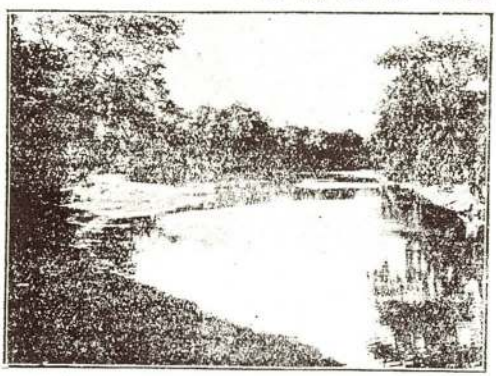
（二）

市加古市を『一箇の街路の都市』として描く筆者がある——これは面白いとである。だが彼のこの概觀は辻自動車の上で、始終計量器に眼をつゝぎ乍ら造られたものに相違ない。思ふに彼は紐育から來た人であつて、恐く彼自身の都市に就ても同一のことを言ふに相違ない。實際一般通俗の人々の有てる紐育の街路組織に就ての智識は、先づあらかた第五列樹街（フィフズ・アヴェニュー）、大通り（ブロード・ウエー）、河岸驅走通り（リバーサイド・ドライブ）から得たものであるが、この世界有名の三對の街路は米國首都の著名な交錯せる大通の網を記述するに足りない。市加古市を取扱ふに、若しも彼が實務の中心地を頭の中においてをるならば、彼れは世界に有名のミシガン列樹街、最大の商店街と天下に認識さるるステイト街、セアター・ウエイ・ランドルフ街、市加古のホワイト・ウェイ・ディーヤボルン街を擧ぐるであらうと思はれる。若し然りとすればその等は紐育の第五列樹街（フィフズアヴェニュー）、ブロード・ウエイ・サアーチー・サード街、第六列樹街に比ぶ可きものである。

又市加古の住宅地の發展に筆が及ぶならば、美はしい湖岸驅走通り（レーキ・ショーア・ドライブ）や、貴族的のアストア街、美しいシエリダン路、驚く可きドレックセル遊歩街（ブールヴード）、壯麗なグランド遊歩街——その他の夥しいものに就ては最早述る必要がない——等のことを記すであらう。これは紐育市の河岸驅走通り（リバーサイド・ドライブ）、上第五列樹街（アッパーフィフズアヴェニュー）、マディソン街、セントラル・パークウエイ・ウエスト等、その他の同市の住宅地と比ぶ可きものである。

身自ら親しく調査せる正確なる智識に基いて、大都市を適確に記述せんには、全市のみでなくその郊外をも調査して確實に記さねばならぬ。何人でも市加古市を記述せんと企てる時は、ミシガン湖の北岸にある美くしくして比類なく思はるる郊外區域に就て知つておく可きであらう。レエーキ・フォーレスト・エバンストン・ケニルウォース・ハイランド・パークグレンコエ・ウィンネットカ・フッ

バード・ウッド・ウヰルメッテ等の區域制定、生長宏大な發達は、市加古の形態上の魅力と榮華との背景になるものであつて、新舊世界の諸都市が誇つておるものと等しい雄大と多感とを有するものである。市の邊境内ワシントン公園の附近、南方に美しく發展した住宅地に就て知識をもつて居らねばならぬ。大に發展した美しい郊外、オーク公園、その西方と公園と姉妹關係ある村々、更にその西部、ホイートン・エルムハルストヒンスデールに就て或物を知らねばならぬ。さういつた點の眞の意義を更に善く評價し得るためには驚嘆す可き事實をもてゐる市加古の面積に或注意を拂ふことが必要である。又この事實は他の都市の之れと比較する時一層よくこの意味を露すのである。



昔からある森林を保存せるものにて市に密接せる美しい運動場中の代表的の外郊外

市加古の面積は百九十八平方哩ある。長さ廿六哩幅九哩である。紐育は人口は市加古の二倍、これであつて面積は市加古より僅廿一パーセント多いだけ即ち二百四十平方哩である。長さ卅五哩、（スティテン島を含む）幅十五哩である。倫敦は人口は三倍で市加古よりも面積卅五パーセント少く百廿三平方哩である。長さ十四哩幅十哩である。伯林は市加古人口より百萬人多きに、面積は卅六パーセント尠く、百六平方哩である。巴里は市加古市よりも人口廿五萬人多く、面積は七パーセント尠く百八十四平方哩である。これはセイヌ區域を含み、城外五哩以内を含むでゐるのである。純巴里市は僅に卅二平方哩で、幅七哩半、長さ五哩半である

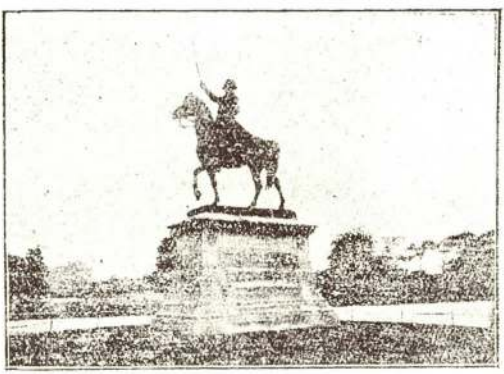
市加古のこの面積の廣大なることに就ては、十分なる考慮を拂ふ可きである。制限せられたる面積の諸都市にあつては、都市文明、都市生理の發

（三）

展が著しく落ちる。人口に就ては市加古の上にあるも、面積は市加古に劣る三大都市では、社團基金が非常に增加してゐる。これは、密集的發展と引力ある周圍の影響を、概觀する時に巨大なる意義のある點である。

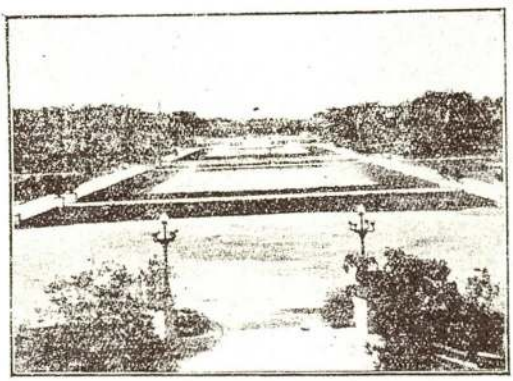
市俄古の面積は、ボストン・クリーブランド・デトロイト・ピッツブルグの面積を合したものよりも大きい。紐育がマンハッタンとブロンクスとよりのみ成立つた時、その面積よりも市俄古のそれが四倍大きい。これは一八九〇年のことである。現在の伯林よりも殆ど二倍純巴里よりも六倍、倫敦よりも三倍大きい。若しも市俄古市を完全な平方哩におくならばそれは一四八平方哩となる。全市の外圓を巡るならば、八十六哩歩かねばならぬ。平方の對角線の點から横切るならば一九・八哩かゝる。

以上の如き事實を心に留めてゐれば、市俄古の人口の二倍以上を有し、而して市の改善維持のために、年々殆ど三倍の社團基金を有し、唯市俄古市面積に比して面積五分の一多きに過ぎぬ紐育市は、その都市文明的施設の成就に於て、遙に市俄古市を凌駕することは明であることは見易い。社團基金は制限あるに面積は巨大なることを想像し見よ。照燈設備、學校の發展下水工事、給水設備、公園維持その他の公の設備に就ては言はずとするも、右の如き事情ある都市が適當の政策に於て恐る可き仕事に逢着せねばならぬことは明かである。故に市俄古市は二千七十九哩の鋪床街路を有し世界に於ける最良の鋪床街路を有する大都市である。市の面積の巨大さを知らうと思へば其最長の街路の長さを見れば好い。ウエスターン列樹街（アヴェニュー）は廿三半哩の長さをもつてゐる。ハルステッド街はこれに次ぎ廿哩の長さをもつて



市加古市のハムボルト公園、馬上の姿はコスシユスコーの紀念碑

ゐる。ウエスターン列樹街やハルステッド街の事を言ふと、自然に自分の友人が經驗した一の挿話を思ひ起さゝるを得ぬ。彼はテンネッシイの幾つかの丘の間にある一の城邑に生れ且つ育つて、青年時代となつて、實務に從事するために紐育に移り住んだ人である彼が始めての故郷へ歸省した時、非常な誇りと紐育を自分が所有してゐるかの如き口吻で、雜貨店のストーブの周圍に集つて來てゐる者の剽輕者や呆笑に話した。そして紐育の大通りは街路が十四哩からあると話した。頰髭の老爺の奴が口をアングリあいて、半は畏れた樣な半は信ぜられぬといふ樣な表情をして、『ヂャーそこにやー道ばたにみんな店がならんでゐるんヂャヲ』と言つた。



市加古市「四十一哩」公園中のかーフヰルド公園

田舍の小邑に住む人々は、店舖の數や商業中心區域の廣さによつて、その市の大きさを定める習慣があつた。彼の故郷なる此邑では、僅に三箇の店があるのみであるから、此邑から一歩も外に出たことのないこの老人が、かく怪むのも不思議はない。自分はこの挿話を屢々考へる。といふのは市を評價する人々は自己の智識や理解の程度にあてはめて諸都市を考へるてふ事實をこの挿話が縮圖にしてゐるからである。この老人の三箇の店舖を有する街路が、一箇の都邑の廣さに對する彼の觀念であつた樣に、人は市加古市の巨大さに就ての適當な觀念を構成するには、ハルステッド街を尺度にするかも知れぬ。この市街には文字通に一の町の端から端に迄店舖が軒を揃へて並んでゐる。これ市の西部の最重要の市街である。

（四）

市加古市にある商店や事務所の數は（代理店を

除く）これを眞直ぐに並べるならば、二百八十哩となり、市加古市からデトロイトに達する。市加古市は面積が巨大なるに、公の財源が制限されてあるのであるから、他の大都市に比する時、鋪裝道路が（現在之れは隨分延長し又良好のものである）幾らかまばらであること、又十分には未だ發達して居らぬ或大面積のあることは、怪むに足りぬことである。市加古市は成長し過た村落が、偶然に任せて集合して出來上つたものと記されてある。實際は左樣ではないのだが、併しこの說は市が組織ある都市計畫の立場から、遠いことをよくも指し示し居る言葉であると思ふ。都市計畫者の眞の問題は、未だ組まれてない離れ々々の凡ての部分を、首尾ある適當の衣服に造り代ゆることにある。市加古程處々孤立して非常に發達した區域を含んで居る都市は他に知らぬ。左樣いつた性質の區域が、市の各部分にあつて、この中の一の如きは、それ自身で相當の市を形造つて居る。余の住めるスティト・マディソン兩街の隅から七哩の處に、廿萬人以上の人の住める、非常に發達した都市の首都ともいふ可き部分がある。そしてこの部分はいろ〳〵公園や、遊歩街（ブールバード）や上流階級の發達した住宅地によつて、市の中心からかけ離れてある。そしてその向ふの北、西の部分に、いろいろの市の部分が七哩延びてあて、郊外に達する迄に、その間に未開の部分が交錯してある。市の他の部分も同樣であつて、これから推して知る可きである。



現象の大大阪都市

（甲）

玄黄子

生ける大阪　世界の最大都市紐育は、眞に人生の享樂を欲する者即ち眞實の意味に於ける『生』の享樂を味はむとする者には、確に死の場所であり、呪ひの墓場であることは、少しく斯の大都市の背底に通ずる者の等しく首肯する處であらう。されど、都市は、獨り紐育市のみが斯の暗所を有つでなく、合理的に、最も科學的に營爲されざる都市なる限り、世界の都市は等しく斯る陰翳を有せざるものなく、只其陰翳の濃淡と射幅の廣狹あるに過ぎない、と想はれる。近代の都市が眞に生の享樂に最も妥當にして、最も好適の場所たらしむべく諸般の施設を爲せる中に、所謂都市計畫の如きは、其顯著なるもの丶一つである。斯くして、近代の都市は吾人等個々人が、單に生存を維持する爲の消極的條件に意を須ゐる許りでなく累進的に、生活を展開し、革新的に『生』の享樂を進めむとするがやうに、都市自身も都市民の凡ゆる生活を綜合し、都市民の生活目的より歸納して茲に『都市』なる自己體を創造され、都市それ自體の靈性を有し、隨つて、都市自體の生活と活動を有する。而して、吾人等個々人の生活は、其活動に於て之を徵象されるように、都市其もの丶生活も、亦實に斯の活動に藉りて徵象される。『都市』の活動は、之を各種の事實に藉りて視ることを得て、殆んど無數に其活動事實を有すること、恰も吾人等個々人の活動が殆んど豫見し制限し能はざるに等しく、就中『都市』個體の消長的事實に藉りて觀るも、實に、現代の大都市が奈何に活動を爲して、其生活を遂げつ丶あるか、といふとの一端を窺知し得るであらう。

大阪都市の代謝機能　都市は、彼樣に有機體としての存在を有してゐる。生きてゐるといふ事實は、其處に亦恒に代謝機能の働きを續けてあらねばならぬ。都市生活體を營爲する代謝

的事實は、種々の方面に於て之を觀ることが出來るも、先づ之を都市民自體即ち都市生活體の細胞とも觀るべきものに就て云はゞ、經濟生活に於ても、含有せる人種の雜駁な點に於ても、人口膨脹率の急激にして而も現在我東京市人口の約三倍を有せる程な人口數に於ても、兎も角世界最大都市の一つと謂はるゝ處の紐育市自體に於ける代謝機能の一端を窺はむに、同市は、一セコンド即ち時計のコッ！〳〵二百四十と打つ毎に、紐育市の細胞一つ發生——(出產)する。夫れに次いで更にコッ〳〵と一百八十打つとひよつこり一つの細胞が死滅(死亡)する。尙ほそれに次いで、コッ〳〵と二百四十打つと、細胞と細胞の結合即ち更に細胞の生殖關係——(結婚)が出來上る。斯る事を、絶えず繰り返して、紐育市それ自體は生存し、そうして、死滅細胞よりは生殖細胞の旺盛な今日の紐育市としては、其當然な結果として、多々益々元氣に、層一層其箇體的の膨脹發達を遂げつゝある。さらば、我大阪市なる生活體の代謝機能は奈何なる現狀にあらうか今、大正八年に於ける調査材料に據ると、先づ、細胞體なる人口の消長が、明治四十三年以降大正八年迄十年間に、大阪市箇體の質量を明治四十三年に於て百とすれば、

明治四十三年	一〇〇、〇
明治四十四年	一〇二、七
大正　元　年	一〇七、四
大正　二　年	一一二、〇
大正　三　年	一一四、九
大正　四　年	一一七、八
大正　五　年	一二一、七
大正　六　年	一二五、七
大正　七　年	一三一、七
大正　八　年	一二七、七

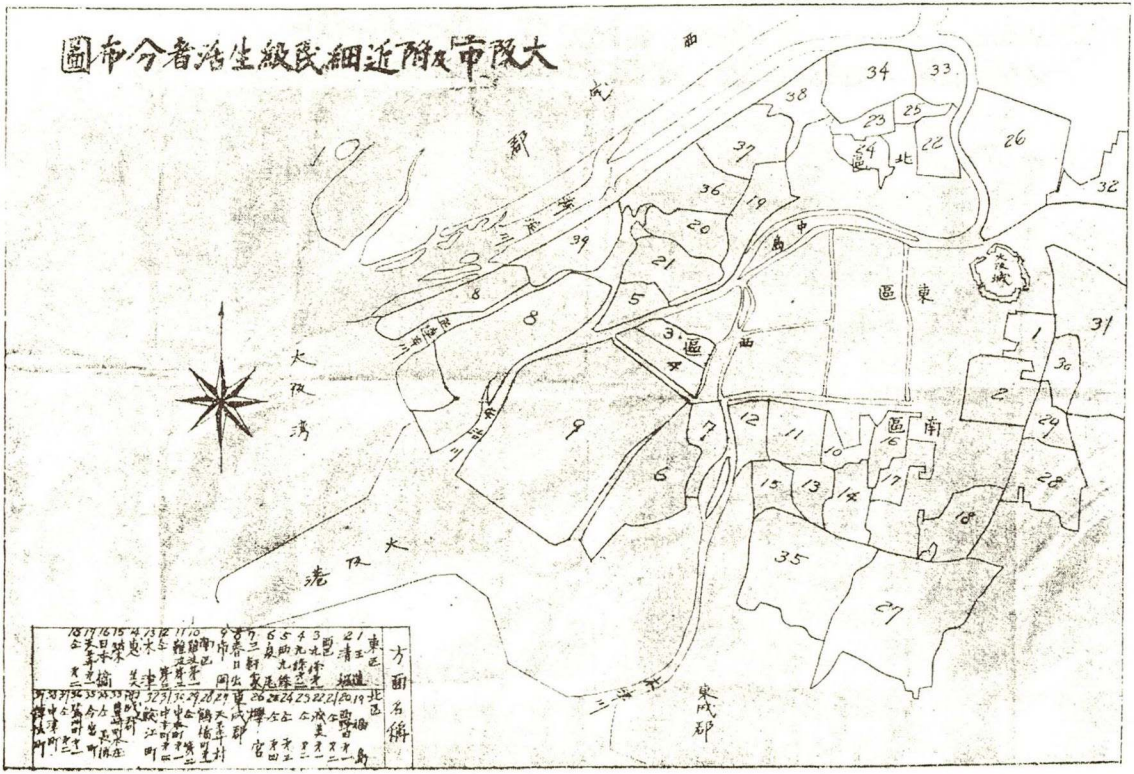
次に、大阪都市が、自箇體に攝取同化して、其膨脹を增す比例を、地方人が大阪都市人として入り來る人口數の上から觀ると、セコンドが、こつこつと約三百打つと、一人づゝ大阪市の箇體に吸收される。其代り、約千八百セコンド打つ毎に、一人づゝ此の箇體から排泄(脫退)される。是は外部より吸收したものと、吸收されたるものゝ排泄を

觀たのであるが、更に之を内部より生ずる代謝關係に觀ると、約一千セコンド——約十七分毎に一人づゝオギアーと聲を擧げる。そうして、もう三百セコンド打つと——（五分——二十二分）一人づゝ、此の細胞體の關係から、火葬場のご厄介になる。更に、生殖關係としては、二十二分毎に一組の結婚が出來上る。其代り、遠に日本は世界一の離婚國だとの稱を辱めずして、約八時間と二十分毎に一組のお去らばが出來る、といふ比率で、將來大正八年に於ける實數より以上を出でないと假定しても、恰も車が一定の速度で動力のあらむ限り回轉を續けるように、斯ういふ消長的な活動を繰り返してゐる。

死滅しつゝある大阪　其著『哲理的國家論』中に叙して、「近世の國民社會中最も奇にして、又最も悲しむべき制度は、國民階級の一種として立てられたる貧民の制度是なり。世人常に云へり、ボバテーは一種の國民分限を得たりと。又曰く、デクラーセーは他人の慈惠を享くべき消極的職業を有する社會一箇の種族と成れりと。念ふに、近世に於ける救濟行政の思想は、（——）憐憫一途の根據に出づべきに非ず、必ずや、漸次劣者の地位を進めて之を優者の種族たらしむべき恒久不拔の策なくむばある可からず』と云つてゐる。實に、貧民問題は、今日の普通に所謂細民問題として、國家的にも、都市的にも實は種々な意味に於て一種の癌種である。而して、ボザンクエー氏の云つたように他人の慈惠を享くべき消極的職業を有する處の一種の社會種族たる傾向より驅つて、等しく國民として都市民として、優者的生民階級に進ましむることは、今日の救濟制度の理想が、實に公共福祉の擁護增進に在る主義よりするも、將た、所謂社會問題の一つとするも、最も重要なる案件と謂はなければならぬ。英國倫敦府は、所謂大倫敦市として、殆んど八百萬近くの人口を有せる世界第一位の大都市である。而して、斯る膨大な人口の中には、實に、我東京市の殆んど全人口に比敵すべき二百萬人口の細民を包有してゐる。而も、其密集的生活は、一エーカーに殆んど四百人に近き濃度

を示してゐる。更に、米紐育市は、五百萬人口を有せる中、彼の有名なるブロクリン橋畔の細民窟のみにても、約五十萬の細民を有し、全體としての細民群居生活の密度が、一エーカー倫敦の三百六十五人に對して、驚くべくも實に一千百四十五人といふ濃度を示してゐる。近時、我大都市に於ても、所謂都市社會問題の一現象として、此の細民問題に注意さるゝこと漸く篤きものあるに至つたが、今、我大阪市——(接續町村)に於ける處の所謂細民の實數及分布の實況を觀るに、左の如き現象を示してゐる。(分布圖參照)

別紙分布圖符號	方面別	戸數	人口
1	清堀(東區)	一一四	四二六
2	玉造(西區)	三一二	一、一七九
3	九條第一	一三三	五〇六
4	同第二	一三二	五七二
5	西九條	一九七	九八二
6	泉尾	一五七	七五二
7	三軒家	九〇	三八一
8	春日出	二九一	一、二二三
9	市岡(前區)	一五	六〇
10	難波第一	二四〇	八〇八
11	同第一	六五一	二、五〇五
12	同第三	三五四	一、四〇五
13	木津	三〇九	一、三一九
14	惠美	六三七	二、七五六
15	榮	二二七	一、〇三七
16	日本橋	一〇一	二六五
17	天王寺第一	四三四	一、三九三
18	同第二	六三五	二、一二九
19	富島(北區)	一〇二	三四五
20	西野田第一	一八二	六六六
21	同第二	一五八	七〇五
22	濟美第一	八四	三一一
23	同第二	三一一	一、〇九七
24	同第三	三七六	一、二一六
25	同第四	二九八	一、一一六
26	櫻宮(東成郡)	一六九	六五五
27	天王寺村	一五三	六七八
28	鶴橋町第一	七〇	二八四


大阪市及附近細民級生活者分布圖
東區
北區
南區
西區
大阪灣
東成郡
方面名稱

29	同　第二	三八	一八八	
30	中本町第一	一八	〇八〇	
31	同　第二	二一	〇七八	
32	鯰江町（西成郡）	二四	〇九三	
33	本庄	一、〇二一	四、〇二九	
34	長柄	八九四	三二五五	
35	今宮町	六二一	二、七一七	
36	鷺洲町第一	二四	〇七九	
37	同　第二	一一一	四三五	
38	中津町	三八	一五一	
39	傳法町	二三	一〇七	
	計	一、八七八	三七、九八三	

彼様な實數と分布になるが、それ等接續町村の人口を合せて約二百萬を有する大大阪都市が、細民實數三萬八千弱とは、之を紐育の五百萬人口中、ブロクリン橋畔の細民窟五十萬のみを以てして尚ほ十分の一を占め、大倫敦約八百萬人口に對する細民二百萬といふに到つては、實に其十分の二半に當る此率の頗る高きに反し、僅に百分の一・九といふの極めて低率なるは、我都市社會問題中の一科ともいふべき救貧問題の、未だ以て慘禍の程度左迄にあらざるを想ふに足るであらう。けれども、斯の數は、所詮、貧民又は細民視すべき標準本位に仍つて其消長を異にする。今此處に掲げた大阪都市の細民は、概して所謂ドン底生活と目すべき部類のそれに屬するものであつてか少しく其標準を高むるも、尚ほ、且つ、必要なる熱量をすら充分に獲られざる底の細民が、斯の二百萬人口中相當な比率を占めてゐる事を考へなければならぬ。大都『大阪』なる生活體は、斯る細胞を多く有するに於て死滅に近づきつゝあるのだ。細民問題、貧民問題は、實に都市生活體の癌種である。都市營養の不及は、そして限約な其衰弱は、多く斯の癌種から來ること、社會問題の爆發が經濟的劣敗者と道義的頽廢者から由來するに顧れば、思ひ半に過ぐるものがあらう。

此のドン底生活者の保健問題及び保安問題は、聽て大阪都市自身のそれに影響する處尠くない。而して、是は、所詮住宅の問題に歸するのであるが、今は之等の關係を誌すの遑がないから、先づ

其保健狀況の一資料として、斯る人達の疾病に就て誌そう。大正八年中一箇年に於ける濟生會大阪支部の施療人員は、實人員二萬一千五百餘人で、延人員八萬八千五百餘人といふ數に上つてゐる。此の中には、大阪市接續郡部以外の郡部に於ける患者をも包含してゐるが、先づ其大部分は、件のドン底生活者三萬有餘人中より斯の患者數を占めてゐる、と見て差支へがない。そうしてみると、少くとも實數萬を以て算ふべき患者が、三萬中の部分なりとは、奈何に其保健狀態の寒心すべきかを想像するに難くない。若し夫れ、其病類別に到りては、遺に、其生活の荒頽と、困苦と、或は無智と、而して、歸する處家屋問題こそ重要な關係を有する事を物語つて剩りがある。即ち、之を百分比にすると、(主要なるもののみを掲ぐ)

傳染病及傳染性疾患	二六、一九
內　譯　(主要のもののみを掲ぐ)	
肺結核	一一、七六
黴毒	四、七九
消化器疾患	一四、五六
內　譯	
慢性胃腸加答兒	四、七八
急性胃腸加答兒	四、二五
消化不良	一、八五
其他の消化器疾患	一、六〇
眼疾	一六、八二
內　譯	
トラホーム	一〇、五六

而して、右に對する死亡者數は、診療の關係奈何によつて、必ずしも、被診療者の事情にのみ歸する譯には往くまいが、茲に、注意すべき現象は其死亡者を年齡別の百分比にして、最も活動に富み又は活動期に入らむとする者が其高位を占むる一事で、左の通りである。

男　子	
四十一歳——五十歳	九、一一
二十一歳——三十歳	八、四二
三十一歳——四十歳	八、〇八
十六歳——二十歳	五、八四
女　子	

二十一歳——三十歳　八、四二
三十一歳——四十歳　七、五六
十六歳——二十歳　四、三〇

更にそれ、幼兒の死亡率に到りては、左の如く道に比較的高率を示してゐる。

男　滿一歳迄　四、六四
　二歳—五歳　四、四七
女　滿一歳迄　三、六一
　二歳—五歳　四、九八

以上は、診療關係に在るものゝ死亡率を觀たのであるが、それにして尙ほ且つ斯くの如き事實を示してゐる。されば、斯る階級に在る人達の全死亡率を識ることを得たならば、寔に怖るべき實狀に在ることを想像するに難くない。維れ大大阪都市に於ける處の、所謂 Dark side として、現象の大阪たる片影を叙したのである。吾人は、以下進むで家屋問題を窺つてみよう。（つづく）

京の夏

○葛城の方にまた見る雲の峰
　床涼みをば思ふ頃かな
○京言葉赤き穢もなまめきぬ
　君が調ずる饂飩のあつもの
○水痩せて冬のやうなる月あかり
　加茂川月夜泣くは誰が子ぞ



〔講壇〕

歐米の住宅問題に就いて（中）

名譽賛助員
工學博士　直木倫太郎

（四）

扨て國際會議の經過並びに決議希望等は一々皇帝陛下の關下に奏上されまして最後に陛下より勅語が下賜されたのであります。

『朕は大なる熱心と同情とを以て各國の住宅問題の進行並びに諸鄕の事業に注意して居る、殊に今回の決議に對しては之が實行されんことを衷心希望する、惟ふに住宅問題は單によき家である丈でなく、宜しく人々の發達健全を導くために都市計畫と相俟つて研究努力し、國民は各自誇りとする家庭を有するに至ることを切望す』と仰せられたのであります。

扨て國際會議の特別委員會は次の會議について研究するの必要から九月に白耳義のブラッセル市で開會されましたので、私等も參列したのであります。そこで次年（即ち今年）は伊太利の羅馬で開くことゝなりましたが、伊太利の總理大臣から

は國內の事情が許さないといふ理由で、明年の春五月に開いて貰ひたいとの交渉があり、此度は國際會議の名目を實ならしむる必要から、獨墺米三國からも代表者を參列せしめたいといふ希望が出まして、來年五月に決定致しました。それから一九二三年度には佛國巴里市で擧行することになり、日本からも代表者の參列を切望されることゝなりましたが、私等は遠路の處でもあり少なくとも半年前に通告して貰いたいといふ希望を述べておいたのであります。

又會合の會費問題が議に上りまして、各國共都市の人口に應じて割り出さうといふ說が出たのですが、倫敦委員は大いに困却する旨を發表し、議決にならずに終りました。

要するに、各國共住宅問題については大いに頭を惱して居る次第で、吾々日本の立場から見ますると隔世の感があり、吾々は唯時勢に引摺られて居るといふ自覺が起るのでありますが、兎に角參列する丈でも得る處非常に多く、英國の新聞紙を熟讀する丈でも、詳細に關しては敎へらるゝ處が多いのであります。

（五）

英國にては目下約八十萬軒の家が不足して居るといはれて居ります。政府は差し當り五十萬軒の住宅を急造せんとして居るのですが、什うしても八十萬軒の住宅は必要だといふことであります。政府は今や一年十萬軒を造り五ケ年で五十萬軒を建設せん意氣込みであるのであります。一軒の建築費は去年三月の調査によると平均八百磅（六千四百圓）を要するさうで、本年一月には千二百磅（九千六百圓）から千百磅位になつて居るが、將來は平均一千磅（八千圓）として計上されて居りますから、五千萬軒として見ると總額五億磅（四十億圓）の巨額となる譯であります。是を一年十萬軒と見れば一年八億圓の金を公債に賴つて擲たんとするのであります。

惟ふに、國民の負擔は重大でありますが、住宅の不足から革命が起ろうといふ危機に在るが爲に

止むなく政府は大決心の臍を固めて居るのであります。住宅の不足は實に戰前一九〇五年頃から始まりまして、殊に戰時中は全く家屋の建設は絶對に中止されました關係から、戰後愈々困難なる狀態に立到り、戰地より歸休の軍隊は勳章を下げ旗を立てゝ市中を練り歩いても、明き家のない事は明かな事實であつて如何ともすべからざる狀態となつて居りますから、政府は國家事業として此の大問題を解決しやうといふのであつて、同時に最早長屋建や不衞生な家屋を排斥し、愉快にして衞生的な、又永久に滿足と健康と幸福とを得られ、前途の希望と光明とを得らるべき住宅を建設しやうといふのであつて、之が爲に一軒一千磅の費用を拋たんとしつゝあるのであります。

昨年の四月十一日に、英國皇帝陛下は皇后陛下と御同列で、住宅問題と都市計畫に關係ある人々をバツキンガム宮殿に召されて、勅語を賜つたのであります。

『朕の望む所は單に家である丈では不可なり夫れが美しい「ホーム」でなければおらぬ、我國には到る處此等衞生的な健康と愉快を享有する住宅で充滿することを希望して止まぬ』

といふ勅語が下賜されたのでありまして、此の尊い言葉に促されて、最早姑息な手段に甘ずるとは出來なくなつて來たのであります。そして不足の住宅を急造すると同時に、從來の非衞生的住宅を滅亡させ、且つ美しい住宅を建てようといふ三つの目的に進みつゝあるのであります。この點は顧みて我國の事情とは全く雲泥の差であります。

仍で英國政府は一九一九年住宅條令の改正を斷行しまして、自治團體に之が努力を强制的に行はしめ、且補助を與へやうと考へたのであります。一軒一千磅の住宅は之を貸與する場合には少なくとも家賃として三十二志を拂はしめなければならぬ。是は英國勞働者の苦痛とする處であります。彼等は一週四磅乃至五磅を得て居ります。田舍に在りては二磅から二磅半といふ狀況であり、之が所得の六分の一以內を家賃に支拂ふとすれば、多くとも十三志となります。故に平均十二志の家賃を勞働者が拂ひ得るものとして尙三十二志に對し

ては二十志の不足を見るのであつて、此の一週二十志の補助額を一年五十萬軒と見積れば、二千五百萬磅（二億圓）となります。この補助費を一部各市役所の負擔とし、他を國家が公債によつて補助しやうといふ案が議了されたのでありますが、最近倫敦市會の住宅委員會の報告によると、一軒の家の附加稅が五十二磅に昇つて居るので、之れに此住宅費を負擔せしむるとなると、一軒百三十磅となつて、全く不安定の狀態に陷るのでありますから、大いに問題となつたのであります。

仍で市は特別稅としてペニーレート（片稅）を課して貰いたいといふ希望が出たのであります。此片稅は課稅の標準として不動產の一年の貸付料を打算し、これを集めて標準とする、これを略算稅率（エスチメーテッドレンタム）といふのでありますが、此の評價によつて、其一磅當り一片の課稅を徵收しやうといふのであります。

（六）

此の事情は、目下我國で研究されてゐる地租の一部を地方稅とせよとの聲漸く高まりつゝあるのとよく似て居ります。米國では、市役所より一々査定に參りまして土地と住宅との價格を定めます、そして其半分は州のものに半分は市の稅とする、此等の標準格の內五分の一は差引かれるものでこれを差引いたものを「レータムバリユー」と申します。

倫敦ではこの「レータムバリユー」評價一磅につき一片、即ち二百四十分の一の課稅を負擔しやうといふのであります。スコットランドでは此「レータムバリユー」とせずして、評價から府稅修繕費等を差引かないで、一ペニーにつき其五分の四を以て特別課稅として居ります。

今一昨年即ち一九一八年の市役所の稅金は、一磅につき四志二片を橋梁道路等に用ひて居りますので、就中市の住宅費としては百分の四片を課して居りますから、昨年から一片となつたとしますれば、乃ち二十五倍に增加した事となります。

倫敦にてはこの基本價格一年四千六百萬磅に登

れる由なるも、英國全體に割合すれば一年に一百萬磅を越えぬであらうとの事であります。扨て當初の考へにては全體の Loss の四分の一を以て市の負擔とし、其四分の三を以て政府の負擔とせんとしたるものである。和蘭にてはこの方式により實行して居ります、然るに英國にては各市共此負擔額は過大として承知せず、依つて政府は一切國家の負擔とするの決心を定め、之を公債に附せんとしましたが、市役所側としても全く負擔なくては如何にも冷淡なりとの說起り、幾分の rate なりとも負ふべしと定まり、結局「ペニーレート」制の決定を見るに到つたのであります。

尙政府の見込としては、今より五年後一九二七年には、物價現時の三分の二に下落すべしとの推定により、將來夫迄の辛抱をなさんとするのでありますが、是には議論の餘地があります。物價が低減しても勞金が同く低下したら什うなりますか、是は問題であります。乍併政府は今後の目途を立てゝ決心した以上は、飽く迄やる積りであると見えて、議會でも常に質問應答があります。衞生大臣は一々詳細な說明を與へて居ります。

然るに本年一月大藏大臣チエンバレーン氏は、財政上の窮乏から住宅問題委員會の會長へ宛てゝ交涉し來り、目下の財政では到底將來を畫策することが出來ないから、十七萬軒の家を立てたら一時打切つてくれとの事であつたそうですが、民間の識者は盛に本問題の前途に對して注意を怠らぬ樣子でありますから、財政上如何に不安なる狀態が繼續するにした處で、政府は當初の決心を飜へすことはないであらう。

最も高きに達する道途は
最も低き所に横はる

（カーライル）



〔資　料〕

英國に於ける建築組合（ビルデングギルド）の進歩（下）

ジー・デー・エッチ・コール氏稿（抄譯）
（アメリカン・インスチチウト・オブ・アーキテクト誌所載）

○職　工

載建築組合の立派な成功からして、將來に有力な信頼を贏ち得たのみならず、職工の向上を工業界に齎らした此反動的事實を記錄することは、興味津々たるものがある。

本問題に就いて最近ステヘン・イーストン氏は「マンチエスター」區の有力な請負業者の會合席上に次の樣な演說をした。

『組合法の成績から得た一つの敎訓は、請負工事に於ける多くの職工が、一日常傭の場合に半日分の仕事にもならぬ程度に働いて居るのが證明された。組合の職工は一日七百から八百の煉瓦を積んで居る、然るに一般住宅工事に於ては、其半分にも及ばない。これ疑もなく帝國民と商賣上に關して現存する處一の恥辱である。彼等

は全力を盡して此惡弊を根絶すべきことである』

氏の此觀察は、有力な請負業者が建築組合組織の内容と此組織の優良な點を理解することが出來なかつたのを明瞭に裏書して居る。則ち是れ現代經濟組織に於ける工業的自治である。組合の職工は若し二つの條件が承認せられるならば夫れで滿足であると考へてゐる。換言すれば、職工は直接公衆の爲に奉仕して居るのであつて、個人の利益の爲でないといふ事と、又將來彼等の工業組織に於ける責任は、社會奉仕といふ意義の下に自治の原則を認容せらるゝならば、其結果は現在の組織の下に行はるゝ工事よりも其量に於て又其質に於ても一層優良なる仕事を成就し、同時に工事施工上に一新紀元を劃するに相違ないと確信して居る。

此の議論は請負業者の側に、冷笑されて來た。若し彼等の自治を認容するならば、却つて職工連の放縱を到來するに過ぎないであらうと考へられた。乍併事實に於て此組合請負の進歩、組合職工の資質を矯正する上に於て將來益々其効果を擧げるであらう。故に此方式は寧ろ許さるべき性質のものである。然るに今日請負者の維持しつゝある道義は決して完全なものでない。此社會奉仕てふ新道義は一般工事に從事するものに明かに缺けて居り、所謂「なまけもの」の異名を頂戴して居る位であるから、到底彼等には普通の工事に對しても此組合法の全く新しい條件下に出來上る仕事の同じ分量同じ質丈のものを出來することは不可能である。

○仲裁人としての公衆

斯くの如く相方相抵抗して居る論爭の間に最後の判決を與ふるものは一般公衆である。若し此組合制の方法が適用されて安價で優良な結果を擧げて來て、職工が現在請負者のために働いて居る樣な遣り方でなく社會奉仕の觀念が明かにされたならば、明かに一般公衆は現在此組合の發達に對して制限を加へ壓迫を加へて居る政府を鞭韃して、一般住宅工事に此組合制を適用する樣に努力することであろう。勿論數多の反對論に對抗して此目的

を貫徹するは却々容易な事ではない。乍併此組合制の運動の良好な成績を動かすべからざる事實の上に示したならば、一般社會公衆は直ちに最後の判決を爲し得るに相違ない。

現在英國一般社會は住宅の缺乏に苦んでゐる。併し安價で優良な住宅を得らるゝならば、從つて借家料金も低下せしむることが出來る。然らば一般請負者では此要求を成就することが出來ないで、此組合制の方法にて立派に完成し得るとならば、此程の有力な根據はあるまいではないか。そしてそれは理想でなく夢でなく事實に於て組合制の立派な成功を齎して居る以上は、必ず近き將來に此方制の一般に行はるゝ事期して待つべきである。

勞銀の底下策

此の組合制の發達を中心にして斯く爭論が持上つて居るが、今一つ之等に連關して一般建築工業の發達に伴ふ爭がある。政府は今や請負業者側の保護を與へつゝあるが故に、工業界を通じて賃金低減の大組織を採つて居る。此組織によると被傭人は建築工事に於て職工同盟の決定した公定賃金よりもずつと安い賃金で働かねばならない。請負業者は此の方策を承認して殆ど之を實施せんばかりになつて居る。が此れは疑もなく建築職工同盟の大反對を惹起するのみならず、一般建築工業の衰微を招徠するに相違ない。乍併此の衰運は此組合制の發達には大した影響はなく、却つて此の組合法の優良な點を一般公衆に宣傳するに最もよい機會となるであらう。

英國の職工會社は寧ろ可成り心配をして居る。それは此の賃金低下策に反對する結果は建築職工同盟の威力を破碎しはせぬかの杞憂からである。何となれば請負業者側では若し職工同盟を屈服させることが出來たならば、組合制の要求を緩和なさしむることは難くないのみならず、組合工事制の防害を遂行して、結局衛生大臣が仲裁に立つ迄になるだろうと、多寡をくゝつて居るからである。

要するに、是は興味ある戰爭である。且つ工業界に於ける爭論の中でも最も大切な最も影響の大きいものである。又爭論の焦點は一方に於て利益に對する工事の形式の利害に關する問題であり、又他方に於ては完全な自治組織の下に社會奉仕を遂行せんとする組合制の價格問題である。此戰爭は何れが勝であろうか却々豫言は出來ない。（畢）

都市社會事業と社會事業家（中）

——（ハル・ハウスのミス・ゼェーン・アダムス）——

岩村貫三郎

（f）

更に之の南には猶太人の移民部落があり之れが延びて、ボヘミヤ人の大部落の中へ消えて行つてゐる。この市加古市のボヘミヤ人部落は、世界に於ける第三のボヘミヤ市と考へらるゝ程の大部落である。西北方面には多くのカナダ生の佛人が住で居て、長く米國に居住するに拘らず米國に同化せず黨派合が強い。北にはアイルランド人、初代の米國人が住で居る。市街の直ぐ西とずつと北には、育の良い英國語の家族が住み、その多數は己の住宅を有し或者の如きは舊くから百姓家に今もつて住でゐる。

市當局者の政策は創業進取的ではない。いつでもその義務の遂行を催促せらるゝのを待つて仕事をする有樣である。市民の中にあつて、凡て事を創めることの出來ぬ立場にあるこの附近の者にとつては、これは甚しい不幸である。街路の汚れ穢いことは言語の外である。學校は設備とゝのはず衛生法は施行せられず、市街路の採光は惡く、舖床路は目もあてられず、裏街や小路に至つては全然舖床がない。多くの家々は下水道との關係がついてない。古い富める住人は出來るだけ早く移轉したいとあせつて居る。而して移つた彼等の後へは、市民としての義務に全く無智な移民が新に到着する。かくして南部と東部とは工業區になつて了つた。猶太人と伊太利人は大衣服工場の仕上をする。前には米人アイルランド人・獨人がやつて

ねたのであるが、餘り賃金が安いので彼等は之の仕事を拒絶したるに、猶太人伊人がとつて代り、而して彼等は安賃金自宅雇使法によつて、之の賃金を非常に下げられ、これに滿足してゐる。この不法なる受負人等は、地下室も暗いとは思はぬ、厩も汚いとは思はぬ。貸長屋も狹いとは思はぬ、斯る生活法では安い賃金となるも當然である、隨つて之等の店は外國人の最下層落部に多い。

此區の家屋は大抵は木造であるが、始め一家族が住で居て後には數家族が住む樣になつてゐる。廿年前貧しい郊外に見るとの出來た不便な組立て小舍の型に從つたものである。之の多くは元建てられたと同一の場所にあるが、或ものは附近が工場になつた爲、ローラでこゝに運ばれて來た。僅かばかしある三四階の煉瓦建の貸家は比較的に新しい。又僅な大きな貸家もある。小木造家屋は一時的の間に合せ的のものである。故に恐く市加古市にては長屋法は全く不適當である。大抵の家は供水非常口の設備がない。魚やその他の屑や灰は街路の舖床に固着して居る木箱の中に投込まれて居る。(省畧) 伊太利移民の子供等は街頭に出て靴をみがき、彼の妻は街の小溝から襤褸を拾ひ、汚い場所に行きて選りわく(下略)。

(G)

兩人等は企てた計畫に對し、理解と同情とを得る爲、あらゆる機會にトインビー・ホールに躰現せられて居るセットルメントの意義を宣傳した。併し財政上の點に於ては、尠も訴ふることをしなかつた。凡て女史等の私の金をもつて切り盛りして行つたのである。幸にして隨所に好意をもつて注意せらるゝに至つた。時々その前途に對し疑惑を差し挿む者もあるが、大抵は友情をもつて援助してくれた。スウイング敎授は、イブニング・ヂャーナルに推薦的の一欄を書いてくれた。

前號にも記しておいたと記憶するが、ソーシャル・セットルメント(社會植民事業)の眼目は、周圍に敎養ある社會生活を植えつくる中心力となり、周圍を化し引き上ぐることにある。今日の言

葉で言へば、文化生活を環境に植えつける事なのである。故に彼等は一個の慈善事業といふよりもヨリ意義ある思想的背景に立つてゐるのである。

彼等の熱心なる、こゝに移轉した初夜はポーク街に向つて開いてゐる戸を閉すことを忘れた。併し翌朝になつて新しき隣人と近所の者に、正直と親切との例を示し得たことを喜んだ。

初の週にはヂョルヂ・エリオットのロモラの讀會を、スター嬢が二階の食堂で開いた。若い婦人の一群がこの大なる小説の研究會に集つて來た。その中に此の企に同情を有する有志が漸次に加つた。或一人の魅力ある若い娘が、市の遠い北部から毎朝正確に通つて幼稚園を補導してくれた。女史の言葉を借用すれば『とこしへに、兩親は若く兒等は幼き場所』とヴィクトル・ユーゴーが、天國に就て定義したさながらの姿を、毎日現して見せてくれた。初の五年間は幼稚園保姆、その後には托兒所の保姆として務めたが、その天性と覺しい快活と浮昇的の心とは、陰慘な環境、女史等の努力より生ずる張りつめた心を和げてくれたといふ。こゝに一つこの階級の無智を語る例が記してある、伊太利人であるが、五歳の兒に、毎日葡萄酒に浸したパンを朝食として持參させてゐたとある。

それはさておき、彼等は最初から一箇の案を立てたり書物によつて研究などして、事業を進めて行つたのではない。初に着手した事業そのものより、又は周圍の要求より、漸次に暗示を受けてその必要を徐々に充す風にして、今日の如き事業の大をなしたのである。さういふ譯であるから、この幼稚園は不斷に彼等を社會事業家として敎育した。

伊太利生の幼年であるが、同じ伊太利生れの幼女のそばに坐るをどうしても肯せない、その譯を訊くと『僕等はこういふ風にマカロニを食ふが』口に板金で造つたフォークを動して手眞似をし、『彼女はこういふ風に食ふから厭だ』と手を高くあげ頭をうしろへ引き、大きく開いた口に澤山のマカロニを受ける風をする。彼女はこの上品と野鄙との差別を肯せぬやうにカブリを振つた。こん

なことから、階級的の偏見を取り除く道を講ずる様な風にしていつたのである。

（H）

ハル・ハウスへ自然に少年少女が集つて來た。幼稚園に働いてゐる彼の若い娘が、彼等の群から一のクラブを拵へた。その起りといふのも、兒童等の性情を發見したことからの思ひ付きであつた。或る年長の子供が、彼等の群に毎日續けて中世紀時代の騎士物語をして樂しませた。或日子供等は興奮して飛び出して來た。そして彼等の中の最も感情の强い子供が言つた。『僕等はもうこゝに來ない。ローランド公が死んだから』と。物語の中心人物ローランド公が、物語の中に死んだのである夢と現實、無機物と生物との境界を理解しない子供等は、物語が即ち現實の活躍なのである。美はしき物語は彼等の情操を洗練すべく、人物の物語は彼等をして政治家や學者や發明家に向ふ興味を涵養するに至らう。且つは學校教育、家庭教育の與へ得ない社交性をも養ふことも出來やう。かゝる思ひ付きからして少年少女のクラブは創められたのである。このクラブが學校卒業後直ちに何等かの職業に從事する子供等のために、手工を授くる風のクラブをも自然に創めるやうに進歩して行つた。

事業は公設食物供給所に進んで行つた。ハル・ハウスの周圍には裁縫を職業にする婦人が多い。彼等の多忙な時期には、家族の食事などには注意を拂つてゐるわけに行かぬ。近所の乾物店から、直ぐに熱くし得る鑵詰を買つて來て食事をすませ、子供等には二三錢を握らせ近所の菓子屋で滿足をさせてゐる有樣である。一片の最も安い肉、一片の野菜でも、入念に料理すれば、美味な營養價値に富む食物を造ることが出來る。別してこれは科學的の訓練、注意深き管理をなすの便のある大きな公設食堂では十分な効果をあげ得られる。その頃新英州の厨房は、比較的に、ボストンに於てリチャード夫人が主人として働いてゐる厨房が新しくもあり進歩もしてゐた。女史は同志の一人をこ

ゝに派して、夫人の下に學ばせたのである。彼の歸來と共に食物供給所の事業は開始され、そしてその眞價が認識せらるゝと共に、限りない益をあぐるに至つた。

次は大人の社交クラブである。日本人には比較にならぬ程に社交的な西洋人にとつては、斯る類のクラブの存すると存せぬとは、そこに甚しい便不便がある。その頃ハル・ハウスの周圍に於て、かゝる類の要求に滿足を與ふる唯一の機關としては、一の酒場があるのみであつた。移民等はこゝに社交し、こゝに集會し、樣々の相談會、洗禮や結婚の祝ひなど悉くこゝに取り行はれた。貸借料金は廉價であつた。來集者が酒のために支拂ふ可き料金が豫想せられてあつたからである。故に部屋のみを借りて、酒を命ぜぬ客は冷遇を受けた。かゝる關係から、酒呑み客のために、社交の本能の踏み躙らるゝことを恐れて、善良の風儀ある客は行くことを避けた。かゝる必要からして、女史等は大人の爲めのクラブとなる可きコーヒー店附きの廣い部屋を設けるやうになつたのである。而してこの新事業は漸次に其使命を果して行つた。工場の事務員、學校の敎師など、これを使用するものが增加して來た。青年はこゝをダンス場とした。學生やクラブ員は集つて夕食を共にし、又宴會を催すやうになつた。この清き愉快なる小公開堂が創められて、十五年の後に、市加古市は、陽氣な社交を求める青年の自然な渴望が、安全に滿足せらるゝ建物を含む、たとへばレストランや舞踏室の附屬する小公園を設けたのである。

これで見ても、社會の進步が生む社會意識から發する社會的諸々の施設も、極めて近年のことであることが判る。十九世紀てふ百年間は過去千九百年間に比して遙に之を凌駕する程の自然科學の進步と、資本主義組織による富の大集積が行はれた。而して佛國革命に發芽した政治上の自由主義は敎育の普及と成り、敎育の普及は民衆の自己意識の覺醒と成り、斯くて自然に彼等は自己の境遇を改善せんと欲する欲求を生じ、集積せる富と科學の進步とをも利用し應用して、今日の都市に於ける社會事業と成り都市計畫となつたのである。

ウヰスコンシン大學のロッス敎授が、デモクラシイ思想の世界的進歩を論じて『我等は、六年このかた議會政治が土耳古、露國、ペルシャ、支那に設けられたること、ポルトガル、支那が共和國となりしこと、メキシコの專政主義が顚覆せられたこと、印度に於ける不安の驚く可き汎濫、全西歐諸國に於ける政治的社會主義の成長を見た』と(dlanging America. P. 21.)論じたのが、今から八年前の千九百十二年である。それ以後の社會意識の急速なる進歩は、我等がよく承知せる處である。

筆は岐路に入つたが、本道に歸らねばならぬ。この頃ハル・ハウスの大人クラブの一員が、ダウグラス公園主任に任せらるゝに至つたが、彼は早くも抑も最初の公設水泳場を、公園内の池に設けたのである。

だが、女史等の精神の進化と時代の進歩とは、彼等を斯る微温的な社會施設の實行者として滿足せしめておかなかつた。社會問題解決のヨリ根本的方面に注意を向けねばならぬとにした。時しも或る大きな靴工場に同盟罷工が決行せられ居て、同工場の女工等はハル・ハウスに屢々會合を開いた。同盟罷工勞働者等が、最も恐れるのは女工等の軟化である。彼等は寄宿舍に賄はれてゐるので若しも寄宿舍の立ち退きを命せらるゝこともならば、甚しい難問題が生じてくる。種々の論議が女工等の間に取り交されて居る間に、一工女が叫んだ。『もしも我等自らが下宿のやうなクラブを有つて居るならば面白いではないか、かういふ場合にはお互に扶け合ふことが出來るから』と。一八九一年五月に、ハル・ハウスの附近に心地好き部屋二室を借り、部屋の飾り付けの費用及びその一ケ月間の貸借賃はハル・ハウスで支拂ひ、あとは會員を募つて、その會員等に一切を委せ自治制を施いた。三年後にはその一家全部六室を借り會員五十名となつた。この相互扶助的な下宿的のクラブは、合衆國勞働局の役員が視察した際、婦人によつて切り盛りされて居る、斯る事業の中これ程成功して居るものはないと言つてゐたことによつてその成功の程が判る。これと共に彼等が工場法制

定の獲得に努力し始めてから、これ迄は單に感ず可き博愛家として觀られて居たものが、漸く疑惑の眼を向けらるゝやうにもなり、或人々からは不信用を招くやうにもなつて行つた。

（1）

かういふ還境に住んで居れば、自然に貧困より生ずる人生の悲慘事、人間性の醜惡な方面にも自づから眼を映さねばならぬやうなことにもなる。兩親の離緣から、母さへも愛着を有たず、孤獨に捨てられた幼兒を、自分等三人の三箇の寢臺に引き取つて暫く養つてゐた。が後に母親に歸したものゝ、母親が構ひつけぬ爲に死んでしまつた者もある。伊太利人の十五歳の花嫁が、夫の虐待に耐えることが出來なくつて、或夕に助を求めて來た。或日十歳餘の少年がヨボ〳〵の一老婆の手を索いて來た、老婆は息子が死ぬると同時に、少年の家に雇はれたのであるが、今は老衰してしまつた。臺所の次にある穢い部屋で六週間も寢た儘である。

少年の言分は自分の家よりも、ハル・ハウスの方が部屋が多いからおいてくれといふのである。老人は一言も發せぬが、眼は痛々しく恐怖におのゝいて居た。或日一人の婦人が震え乍ら飛び込んで來て獨逸種の老人の家へ急いでくれと歎願した。老衰した爲、州の役人二人が、老人を州立の養老院に移さうとして居るのである。老人は汚損した古簞笥にしがみついて係蹄に陷つた野獸のやうに喘ぎ〳〵吐く息の間から、獸の如き呻き聲を出してゐる。戸口には軈ては己等の上に蔽ひかゝつて來る可き暗黑を、人事の如く眺め乍ら貧民が群れて居る。自分と近所の者とで、老人の生活の保證をしてやつたので、役人もこの嫌な仕事から喜び手を引いた。これ彼等が貧困なりとは言へ、通常の生活に執着しつゝあることを語る好き例である。女史等がハル・ハウスに移つて以來、老人の一身上にかぶさつてくる斯の種の悲劇は、屢々經驗した。州立の養老院に居る老人は、夏期になれば殆ど漂泊の旅に出る。そして冬になるとこの小徒歩旅行に休養して歸つて來る。これが彼等の樂みで

あつた。併し老婆等にはそれが出來ないハル・ハウスでは毎年幾人かの老人を招いて休養をさせてゐる。

今から凡そ廿六年前頃には、市加古市には、何等の社會施設は勿論、慈善團體さへもなかつた。その頃でも貧民は自覺したもので、社會改革者が社會改革の一般原理を論ずるやうに、貧民は貧それ自身の原因に迄突き入つて論じた。一婦人が雨の日新聞紙に、もらつた蚕豆や麥粉を包んで歸つて來た。これが己の一家の飢を救ふ唯一のものであつた。雨に濡れて役立たぬやうなことにならぬため、金はなかつたが電車に乘つた。蚕豆が床上に陷ちたため車掌に叱られた上、金のないことが判つて、一層ひどく叱責された上に電車から下ろされてしまつた。見ればハル・ハウスの前であつたが、氣がつけば上衣を車中に忘れてゐた。彼女は女史の前で呪咀してゐたが、幷は雨でもなく、車掌でもなく、監獄に行つてゐるろくでなしの夫でもなく、『貧』と其原因その物であつた。是がその時代の市加古市精神であつた、と女史は記してゐる。社會施設を缺く社會的缺陷は、市加古市に開かれた世界大博覽會後の冬、米全國を襲つた不景氣に現れた。嚴寒の日、警察署も市廳も無宿の民衆をもつて溢れてゐた。彼等はフロント湖で大示威運動をした。ステッドが市加古市を難じた文章を草したのも此頃であつた。夜の十一時—十二時の間に彼は特殊區域の調査から、飢に疲れ雨に濡れてハル・ハウスに這入つて來た。燃ゆる暖爐の前でチョコレートを飲み乍ら、街路を掃除する爲に、寒の中にオーバコートもなく二時間も街上に立ちつくす戸外勞働者や、彼がうさん臭い人物に誘れて賭場に行つた事を、不思議な獨語をしてゐた。彼が『若しキリスト市加古市に來らば』を發行する前に、大集會を催して市の各方面に散在する道德力を集合し、その結果一時的のものではあつたが、社會施設研究實行の團體が生れた。女史も其委員會の委員に選れた。かくして市の各部に救護所、一時的の宿泊所が設けらるゝに至つた。ハル・ハウスでは家なき婦人の爲の寄宿舍、職業紹介所を設けた。こゝに女史が普通の社會事

業家でなく、人道的基調の上に立つ處の、良心ある人であることを、更に思はしむる一挿話がある。女史が前から知つて居た汽船の一書記が失職して職を求めて來た、家族を助けてくれと五六回も來た、或日排水運河の勞働に口があると言つた處が自分は戸内の仕事のみをして來たから、それは適せぬとは言つたものゝ、最早蓄もなく他に適當の職業もなかつたので就職した。二日間勞働して肺炎を發して死んだ。其二人の遺子を見る毎に女史の心は痛んだ。女史は言つてゐる、『社會施設に科學的方法のみを用ふるは困難である。』『人生は一定の規則や秩序によつて管理することの出來ぬもの』てふことを學び、『人の困難を取扱ふ智慧は、全體としてのその人の生活習慣に就いていくらかの智識がなくてはならぬとの感を深くした』と。

二近世の救濟制度二

近時の救濟事業は實に公共的理想の時期を造成せり。茲に公共的といふ所以は、其事業の理想に於て、一般公同の福祉を增進するの旨義を包含せるを以てなり。即ち近世紀に於ける事業の根基は公益增進の理想に淵源す。故に古代に於ける個人的の理想と正に相反せり。又近世の事業は民生を基とする社會的の問題たり。故に中古神意を本とする宗教的の問題とは自ら其實體を異にせり。



直木博士の講演を聽きて（上）

英國の勞働者と日本の智識階級

附錄

管理人の見たる借家人百癖

會員 A B C

羊頭をかゝげて狗肉を賣るものであるとの御小言を頂戴せぬ先に一寸御斷りをして置く事とする「直木博士の講述を聽きて」などゝ云ふ大看板を上げて、如何にも堂々と論議でもする樣に見へるが、其の樣に見へれば其れで表題の目的は達したので、內容は根底の淺い自己の經驗を讀者諸君の御笑ひ草に申上げる、ごく貧弱なものである事を御承知置き願ひ度ひ。

唯看板に使はれた直木博士こそ御迷惑な次第で、此點は深く御わびを申上げてをく次第である。

扨て本文にかゝる前に今一言私の現在やつて居る毎日の仕事を申上げてをかんと意味の通じない點が有りますから、一寸私の遣て居る仕事を申上げると、私は只今本業としては約十年前より某博士の建築事務所に一所員の末席を辱して居りまする外、本業に些少の影響も有ませんので、某富豪が社會奉仕の爲に土地代を別としまして約三十萬圓の金をかけて住宅經營をなし、市價の約半額で貸與して居りまする土地家屋を、其建築を設計監督したと云ふ關係で管理致して居ります、管理人と申しました處で建物の性質が性質であるのと、今一つは各都市で近年經營致して居ります市營住宅の樣に筋力勞働者向の住宅でなく、腦力勞働者（所謂智識階級の大多數）向に、二階にも一階にも竈の有る樣な家や長屋は一棟もなく、全部一戶建で借家人も其の社會的地位を官吏にたとへて申しますなら、判任官の上級から奏任官の中以下と云ふ階級でありますから、家賃抔も月末には全部の人々が先方から自

分の宅へ持て來てくれると云ふ始末であるし、家屋も又新築早々で目立つような修繕もなく、毎月一度自宅へ持つて來てくれた家賃を經營者の處へ運搬するだけの役目で、無家賃で其の中の一戸を占領してるのは、經營者が小生の貧乏に同情し御情けで置いてくれる、と解釋するより外に解釋の仕樣がない次第であります。

英國の勞働者と日本の智識階級

五月の例會席上で直木博士の、有益なる歐米の住宅問題に關する御講演を、謹聽致して居りましたら、御講演の約七分通り進んだ時に、次の樣な意味の御言葉が有りました。

『以上の如く英國では住宅問題を重視して、之が解決を國でする事になり、此處數年内に兎に角十五萬戸(?)の家を急造する事に決定して、愈よ建築に着手すると、建築組合の職工連は、國が自分たち勞働者の爲めに、巨費を投じて住宅を建築してくれると云ふ事を考へずに、此の機會を惡用して、工賃を增そうとしたり、或は又從來六七百も積んでゐた煉瓦を、一日に二三百しか積まなかつたり、是では困ると政府當局者が、戰地より歸つて來た軍隊の除隊兵にて、未だ職を得ざる者を混用せんとすると、建築組合の職工連は、其の樣な不熟練職工と共に仕事は出來ぬと云ふたり、萬一其等の不熟練職工と共に仕事をするならば、雨天の日にも給料を支給せよなどゝ言ふて、政府當局者を困まらせ、十五萬戸(?)と云ふ大工事の利益を獨占すると同時に、ボチ〳〵仕事を爲て、自分等が職に離れぬ樣な事を考へて仕事を永びかせてる云々』

右の樣な意味の御言葉を拜聽しまして、私は其の御言葉によつて釘づけにされた樣に感じました。それで其以後御講演被下れた事は、甚だ申譯のない次第では有りますが、少しも頭に入らずに、頭の中は右の建築組合の職工、即ち英國の勞働者(勿論英國勞働者の全部ではない)で、一ぱいになつて仕舞ました。

何故に私が右の御言葉を、其程强く感じたかと申しますと、日本の智識階級の内の一部には、右英國勞働者と、同一の考へを有つて居られる人々が在る、と云ふ事を知つて居るからであります。

日本の智識階級の一部の人々を、英國の勞働者と同一視するのは、甚だ失禮な申分ではありますが、事實は如何んともする事が出來ません。

或る特志な人々が、時間と金と腦力と勞力とを費して、其等の人々の爲めになる事を計畫致しましても、其等の人々は、其計畫を少しも歡迎しないのであります。と申しましても、直木博士の御講演と、二百數十名の本會員中わずかに三十數名

しか拝聽しなかつた事などを、皮肉るのでは決してありません。是は直木博士が本會に於て講演なされる前に、京阪神の三ヶ所で公開講演をなされたから、其際に拝聽したか、或は又最近御歸朝になつた博士以上に、最近の歐米に於ける住宅問題に就て御造詣が深いからで有る、と信じて居る次第であります。では何を以て其の様な事を言ふのかと申しますと、管理人と云ふ仕事から得た經驗から申すのでありまして、日本の智識階級の一部の人々は、英國の勞働者と同一の行動をなさるのであります。

扨て私が某氏の依頼を受けまして、其の住宅經營の設計に着手しましてから、其住宅の建築が出來上る迄の道中は略しまして、借家人が移轉して來てからの出來事を申しますと。

今日では附近一圓に住宅商店などが、澤山出來ましたので、總てに便利となりましたが、最初は附近に一軒の住家商店もありませんので、日常の生活に不便でなりませんから、次の様な回章を廻し、借家人一同集合して、

第一回御しらせ

當所住宅も〇十〇軒の内既に三十九軒來住せられました(中略)これだけの人々が一箇所に新らたに住居いたす事になりますと、色々の問題が起ります、例へば通勤通學に不便故、關係市町村の當事者へ道路の修理を、又〇〇〇〇電鐵へ停留場設置を建議するとか、日用品を安價に購入する爲に、共同購買をするとか、娯樂設備をするとか(中畧)御相談して行く内には自分に何等關係の無い事利害相反する事も面白くない事其他感心せんやうな事もありませうが、多數の人が可として議決した事には潔よく御賛同の上、御力添へを願ひ度ひのでありまして、たとひ議決された事が自分の提出した事と正反對の事でも(下略)

五月七日

〇〇住宅居住者有志

各位

色々と協議しましたが、理屈と辯舌にかけては、人後に落ちんと言ふ豪傑揃ひですから、甲論乙駁と云ふ始末で、夕刻より翌日の午前一時頃迄かゝつて、議決した問題は唯一ツで、他は全部委員に一任と云ふ事になりましたが、其委員と言ふのは

第一部委員　道路改修停留場設置委員
第二部委員　倶樂部設置運動設備委員
第三部委員　冠婚葬祭に關する規約打合委員
第四部委員　共同購買等の委員
第五部委員　共同浴場建設委員
第六部委員　保健衛生に關する委員

右の如く六部の委員で、此等の委員が其れ〳〵活動して居ります約一ケ月の内に、家屋全部は借家人を以て滿たされましたので、第二回の集會を致しまして、各委員は夫れ左の如く報告を致しました。

第一部委員　道路改修は〇〇市役所及〇〇村役場に交渉の結果市内迄の村道約十丁の間は修理完成、停留場設置は時期を失したる故運動を一時中止。

第二部委員　經營者に交渉して倶樂部會場として借家中の家屋一戸を三分の一の家賃にて借り受け碁將棋盤等の機具及新聞雜誌等を設備し室外にてはテニスコートを設備。

第三部委員　會員及家族の冠婚葬祭の場合にそれ〳〵贈物すべき金額の決定（金額略）。

第四部委員　當村の西洋洗濯料金は近接の〇〇市中より高價に付當住宅居住者全部一手に注文するとの條件にて當村同業組合の料金表より三割引になさしむる事に決定〇〇商店を指定商人とせり又同樣の意味にて米商は〇〇商店を指定商人となして播州米は市中小賣相場より三錢引備中米は五錢引にて納入せしむる事とせり其他は追々決定次第報告なすも萬一此等指定商人にて不都合なるものありたる場合は幹事迄申出居住者全部不買と決し新たに指定商人を遣る事。

第五部委員　當所住宅の中三分ノ二は浴室の設備なく風呂屋迄は六七丁ありて不便故共同浴場を建築さるゝ樣經營者に建議せんとしたが

も、當所附近に「湯屋建築地」と立札をして警察の許可を受けながら未だ建築に着手しないのを發見しましたから警察署に交渉して至急建築に着手せざれば許可を取消すとの命令書を發してもらひ最近建築に着手したるにより共同浴場建築建議は中止せり。

第六部委員　夜中急病の際は勿論其他の場合でも幸ひ當所居住者中には醫師が兩名居られますから何時にても診療を受けらるゝ事に交渉致して置きました尙ほ來る何日に希望者へは會の費用で種痘を致す事になりました（其後同じく會の費用にて虎列剌の注射も致しました）

右報告に有ります通り各部の委員は經營者に交渉して明家を借り受けて其の明き家で委員會や集會をしたり、官衙等交渉の爲めの車馬賃は勿論印刷物等總てを、各委員はポケットマネーから出して奔走し、斯くて漸く一ッの會を造り上げると、これ程迄に勉強して、各委員が頂戴した辭令は、〇〇會なんて怪しからんものを造つたものだ、委員だなんて頼みもせんのに要らん御世話を燒くものだ吾々は唯安い家にさへ入れてもらへば其でよいんだ、と。

此の如な辭令を頂戴したので、委員中の二三は憤慨して、〇〇會解散說を委員會で力說しました位でありますが、まあ〳〵と云ふ止め男も出ましてどうなりこうなり會は出來上りまして、今日も尙永續致して居りますが、事々に直木博士の御講演中に有つた英國の勞働者の樣な事を言ひ出すので困つて居る次第であります。

例へば前記第四部委員の報告にある共同購買と云ふ事は、普通の購買組合のように最初に相當の金額を資金として出すのでなく、全く團結力を利用した資金なしで、安價な物を購買する方法であるにもかゝわらず、其等の商人が一寸意に滿たぬ事をすると、委員や幹事に申出でずに自分勝手に他の商人をつれて來たり、或は又會で決定しても自分方では此處へ移轉してくる前から、取りつけの商人があるからと云ふ薄弱な理由で他の商人をつれて來たり、致しますので、資金なしに團結力

のみを利用してる共同購買の方法は、此等の人々の爲めに、三割々引かせる事の出來るものも二割しか割引させる事が出來ず、中には氣骨の有る商人は、居住者全部と云ふ御約束でしたのに、たとへ何人でもの人が他の商人へ御注文なさるなら私は御免かうむります、と言ふてやめて仕舞ふのである。

つまり右等の人々の頭には、居住者全部の爲めとか、ひいては自分自身の爲めなどゝ云ふ事は御解りにならんと見へるのである。殊に中にも猛烈な先生とくると、委員や幹事が何か其等の指定商人からコンミッションでも取つて居る樣に云ふので、餘りの莫迦〳〵しさに腹も立てられず、第一回の委員や幹事は早速やめて、後は幹事を三ケ月目毎に交代して、全居住者が一ケ年強の内には必ず一度は幹事になる事に定めますと、

幹事になつたが最後、政權に饑へた政黨が政權でも獲たか、或は又天下でも取つた樣な氣になつて、前幹事が苦心して交涉し多くの割引をさせてゐた指定商人を廢止し、自分等の親戚の商人とか何んとか云ふ者を引つ張つてくる、又次の幹事は其を取變へると云ふ始末で、居住者全體の利益を考へる者などは一人もないので、最近では指定商人となつて割引する者が、無くなつて仕舞つたのである。此の外何事によらず總て此調子で、一度なぞは經營者が居住者の爲めに、市場用の建物を建てゝ此を無料で商人に貸與し、品物を安價に販賣させて居る、其の商人の事に關した注意書を、前記の○○會の小使に配附する樣に依頼すると、何回目かの幹事殿は、經營者の書類を吾々○○會の小使に配附せしめる事は出來ぬと云ふて、斷るのである。自分等居住者の爲めに心配してゐる經營者側の厚意を無にしてるのである。たしか此幹事殿は、帝大出の醫學士で最近博士になつた筈である。此等の事を考へて見ると、最近大阪朝日及大阪毎日の紙上で某博士が、大本敎の事を論じたる中に「智識の有る者必ず常識が有るとは言へぬ」と言はれてゐるが、實にもつともな御言葉で、右の醫學博士などは、大本敎の信者に例へて言へば差當り岸博士位の處である。

此の外事々に借家人たる我が智識階級の一部の人々の行動を見ると、英國の建築職工が、自分等勞働者の爲めに國が巨費を投じて住宅を建築してくれるのを、妨害する樣な態度と、甲乙の差別を付ける事が、私には出來ないので、此處に此の一文を草して讀者の御判斷を願ひ度いと思ふのであるが、最後に私が指して智識階級の一部の人々と稱する、方々の職業を示せば、

小學校々長	數名
小學校々員	數名
高等女學校々員	數名
某市々視學	數名
某縣々視學	數名
某市々技師	數名
會社商會員（內一名法學士）	十數名
某縣港務吏	數名
警官（內一名高等刑事）	數名
醫師（內一名最近博士となる）	數名
遞信技師	一名
電話局員	數名
郵便課長	一名
某縣水產技師	一名
某縣土木課員	數名
某縣屬官	數名
新聞記者	數名
某會社重役	一名
高等船員	數名
某縣都市計畫課技師	一名
其他多數	

以上の如く何れも中等敎育以上の智識有る人々のみである。以下附錄として『管理人の見たる借家人百癖』を書いて見る事にするが、必ずしも百癖を書くわけではなく、五癖で終るか、五十癖六十癖迄書くか、或は又百癖をこへて、二百三百癖を書くかは、自分にも解らない。（つゞく）



彼と吾（二）

N

建築家

かうそん

ヴエランダに、濃い綠成す葉蔭を薄く落し、若夏の朝風、簾を緩く拂ふて、肌心地すが〳〵し。藤椅子のクッションに輕く腰を沈め、小卓に畝はれたる純白のレースと、銀盤に載せられたるカフヒーの盃子に、吾れは、何となく強く印象的な眼を惹かれつゝ、N氏と語る。

『斯う申しては何んですが、俺も建築請負といふ看板を懸けましてから、まあー御蔭でどうかこうか多少存在を認められるやうになつたのですが、眞實の處、今日の請負業者は、餘程自分といふ事に目醒めて居りますから、昔日の所謂『請負』とは、多少隔世の感なきを得ません。：…斯う申しては、奈何なものか存じませんが、其點になりまするど多少な例外は別としまして東京よりは大阪の方が餘程進歩的であらうかと思ひます。』

斯う話の端緒を切りつゝ、きつちり行儀良く掛けた詰襟服の釦を、心持ち氣にする樣な態度で、奈何にも慇懃な物腰と始終にこやかなる面持ち、話はそれから夫れへと、朝凪と共に涼味徂徠す。

『施工に就ての苦心談や失敗話でも聽かせ、と仰しやるのですか、……ウアツハヽヽヽ、それは隨分とあります、いや、大ありですよ、眞實手放しにお話申しますと、まあー……建築請負業者の『側面史』とか、或はですナ『內輪話』とか云ふやうな面白いものが出來ましやうが、

そうなりますと、勢ひ不平談や攻撃話も出ようかといふやうなもので、今は土用の盛夏でも、所謂「物云へば唇寒し秋の風」といふ奴ですからナ、ハヽヽヽ……。』

ヴエランダの勾欄に、いぶし金の様な裏葉を有てる木蓮が、くつきりと乳白色の花瓣をのぞかせ、高雅な薫、緑蔭に浮動して、吾が座席を廻る。

『元來、建築抔は、別荘だとか何だとかいふやうなものは兎に角と致しまして、一體が必要に迫られなきあ建てないのですし、又一旦工事と決まりました以上は皆相當な豫算を有つて居り乍ら、此處にも矢張り不景氣といふ氣配に制せられまして、施主は成るべく多く豫算を餘そうと致しますから、私共請負者としては、幾等工事を甘くやらうと思ひましても、何となく粗悪になることを免れません。去りとて、忌憚なく申しますれば、他が其工事の結果は何であらうとも、幵麽事はお構ひ無しで廉くやりますから、こちらも、勢ひ自衛上是非やらねばならぬ、といふ關係になります。粗悪な工事——、それは正さしく、信用に生き、矜持に生くる建築業者の恥辱であります。一體、斯うなるのは、其責めは何處に在りましやう？俺は、忌憚なく申しますれば、確に施主の罪であります。でムいますから、例へば三五人が見積ると致しまして、寧ろ最低價の一番札よりも、二番札處を取るやうにして貰ひましたなら、其方が却つて信用を置けるのでムいます。』

由來きび〳〵した彼れN氏の性格は、彼れが純白な詰襟服の胸間に燦く白金の Watch chain の隠見するやうに、慇懃圓脫な話中、ちよい〳〵其鋒鋩を露す處、吾れは「遖に」と、窃に微笑を禁じ得なかつた。

ちよつと斜に居座を轉へ、卓上のカップを引き寄せて一口、今度は左右の指掌を、こう組み合して、とんと膝の邊へ落し、そゝして、徐ろに庭先きへ眼を遣りつゝ、彼れは話を續けた。

『是は内密なお話しですが、工事の入札を遣りましても、施主が、此の者に、と思ふた者を密に呼んで、『實はお前さんの方で遣つて貰ひ度い

のだが、是々に、といふ風に遣られると、こちらは、出來るだけ廉くせなければならぬ義理となるから、隨つて粗惡な材料を買入れる、工事には餘儀なく無理をせねばならぬ事となる、自然な結果として工事はお粗末となる、而も其尻は何處へ來るか、と云はゝ、矢張り施工者へ來る、實際、是で、施工者たる吾々請負業者のおたまりこぼしがあつたものでしやうか、まあー考へてもみて頂き度い。そういふ次第でムいますから、設計家に於て御申合い被下いまして、一番札よりは二番札の者に遣らせる、といふやうに致して頂いたら、どんなものかと、俺としては希望致して居るやうな次第でムいます。』

日脚は追々とせり上り、楓や樅や松杉の蔽ひ茂れる葉蔭を透して薄綠の柔かい光を、斜に颯ッと、吾等の上半身に拋げ掛けた。そして、岩間の清水でも潜つて來たかのやうな微風が、其處等邊りを撫づる、寔に佳い氣持ちだ。

N氏は、ちよつと、少々氣兼ねそうな表情を爲て言葉を續ける。

『それから……斯う申しては何んですけれど、從來建築工事に、電燈とか、水道だとか、乃至は金庫の扉とか、衛生工事とか、斯ういふ仕事は、皆それ〳〵請負人が異つて居りますが、是等を皆建築請負者に持たしたなら、大層順序よく參りましやうと思ひますが……左もなくば、之が爲に得て工事の遲延を脫れない事が、往々ありますから、何んとかそうならないものか知らと、まあー俺としては、希望に禁へないやうな譯で……』

話は、更に官公署の向きに飛んだ、

『竣工期の確守といふ事は、俺共も不斷心懸けて居るのでムいますが、それに就て、實際、私共の困つた事は、工事の爲にする道路面の使用とか河川專用杭の許可が却々下りない事で、是には、眞實くの處、ほと〳〵困らされて居ります。例へば、一つの許可を願ふに致しました處で、それ市役所へ行け、やれ水上署へ行けとか府廳へとか、いふ風で、容易く工事に掛られません、幷う斯うする中に、日限が遲れる、遲れ

た結果は皆んな請負人が背負はねばならぬ、隨つて工事に無理をせねばならぬ羽目と成つて、結局は、工事の粗惡となります、ソウすると、矢ッ張し請負人が惡い、と何處までも浮ぶ瀨がないのが、實際俺共請負人の現狀でムいます、是に就ても何とか改善？の方法がないものか知らと思ふて居ります。』

と話しつゝ、卓子の端に輕く載せた左手を、つッと引いて、ちよつと身體を斜に向け直しつゝ、卓上の琥珀色に澄める麥茶のカップを秉つて口を潤し、主客共に、自然と庭の面を見遣つて、姑く言葉は途絶へた。道に、夏の威壓は、此處のすがすがしき中にも、何となく吾等の邊りを漂ふてゐる。暫くして、N氏は亦も語り續けた。

『も一つお話致し度いのは、工事施行に就て其隣家の修繕費の事でムいますが、是抔も、俺共のほんとうに痛た事な一つでムいます。例へば實際以上の損害額を吹き掛けて、それを賠償しろ、と遣られる事は、決して少い例ではないのでムいます。中には、工事の爲に休業した間の損害をも呉ろ、と要求される樣な、實際要求通りの損害があつたものか、訴訟でも爲て一々立證でもさせない限り、とても判りツこはありません、休業期間の賣り上げかて、實際毎回ソレ程な賣り上げがあつたものか、又は、移轉に致しました處で、實際ソレだけの移轉費が要るものか、それは當人同志の交涉では明確に判りません、仍で、喧嘩するのが厭やである限りは、まあ一、先方の言ひ成り次第に賠償せねばならぬといふ俺共の現狀を考へてもみて頂き度いのです。是抔も、俺共の理想を申しますと、設計なさる方に於て、豫め調査して頂いてソレを全工費の中に纏めて頂いたら、と思ふて居ります。』

N氏は、それからそれへと、却々會話は竭きない、話題は種々な事に亘つた、就中現場監督との關係に就て、理想話や希望談が出た、併し、それ等を餘り書いてゐては果しがない。そうして、話題は、亦も總論的に還つて來て。請負業の社會的活動論に移つた。曰く、

『請負業者も、勿論、所謂新時代と共に向上せ

なくてはなりませんが、眞實の處、餘り賢くなつては請負商賣はいけないといふ關係もありますから、自發的に餘り差出ケ間しい活動も出來ません。例へば、俺共の同業組合にしろ、ほんとうに俺共の社會的地位の向上が、事業上の改善とかいふ事で、所謂侃々諤々式にやりますと……是は内所話ですが、まだどうも結果は良くないようです。ソレでムいますから、つい互に足元を見合ふ、言ひ度い事でも蟲を殺す、遣り度い事でも引込み思案と成る、是じやあ、到底うだつは上りません。何んゝ申しましても、『今は過渡時代だから』と口實を見付けて、それに安じてゐれば、天下は泰平でムいますが、果して斯麼事で可いものでムいましようか？。斯ういふ譯でムいますから、業界の先覺の方達が、俺共を善導し開發して被下る處の、他發的な力に縋らねばなりません。……幸にも、俺達多少此處に目醒めた者が、或會合抔を爲し、間接にもこういふ機運を拵へて居りますに就て、有力な方々が事實の上に於ても御共鳴被下つて居る事は大層力を得て欣んで居ります。』

記者は、奈何にも眞心を現はしてゐる處の、其面持ちと物腰に、少からず引き附けられた。そうして、言ひ度い事の多くを包むでゐるかのよう控へ目勝ちな語り口に、成る程、やつばし『物言へば唇寒し秋の風』を氣にしてゐるのだナと想ふた。併し、記者は、尚ほも水を向けてみた、そうしてN氏は更に語り續けた。

『エ、斯うでムいます、お話の通りに、吾々同業者としても、近來大分公職抔に就くようになりました、是は大層好い現象だと喜んで居ります。勿論件の公職其ものは大した事でないにしましても、斯ういふ方面に、吾々同業者が代表的に關係致しますことは、それ丈け業界の進化と見てよいと存じます。斯うして各方面に色んな活動を致しますのも、實は、矢張り日本建築協會抔の御挽推に頼らなければなりません。

N氏、遖に矢張り商賣上手である、話の尻を『日本建築協會の御挽推』で結ばれた處は甘いものだ。折柄微かな午砲の響に思はず長座を謝して街路へ出れば、理想に儼へた『現實』てふ蒼い疲れた顔が、『生きんとする道』へ血眼に行き交ふてゐた、ア、矢ッ張し何處も暑い事だ。

臺所と流しと衣服

大阪府内務部長
小幡豊治氏夫人
小幡まき子

前任地の名古屋は割合に靜かで暮しよい處でした、今度初めて大阪へ參りましてこの市中の賑やかさには驚いて居りますが、段々狎れましたら今にあの雜音も耳につかなくなるでせうかと思つて居ります。

私が當地へ參りまして一番初めに感じました事は、私の家の臺所に就いてゞした。一體に關西風の臺所は、總べて床がタヽキになつてゐて働く者は下駄履きださうですが、私は今迄關東風の板張りの臺所に狎れてゐますので、一寸只今の處では總べてが異樣な感じがしてなりません。如何でせうか、どうも私には、あの場所を廣々と取つた當地の臺所はいろんな點に無駄が多いやうに思はれます。床がタヽキですから、仕事の後仕舞にはすつかりそれを流して清潔に出來るといふ點もありませうが、私には、板張りの狹い臺所も、却つて場所が狹いだけに掃除等も行き屆いて、矢張り始終雜巾をかけますから清潔の點では同じでなからうかと思はれます。宅の女中が幸ひ以前から居ります者で、今度も一緒に當地へ參りましたが、私はそれ等の狎れない樣子を見ますと一層氣の毒に感じられてなりません。東京風の臺所は兎に角、その特徵が狹くてよく纏つてゐるやうですから、例へば懸は坐つた儘でも一寸左右に向けば煮物御飯も洗ひ物もといふ風に大して勞力を煩はさなくとも氣樂に出來るやうに思はれますが、當地では只場所が廣い上に竈も流し場も、風呂の炊き口にも大抵は離れ〳〵になつてゐますので、仕事をしかけて置いてあちこちに走らねばならない女中は隨分體もよけいに疲れるでせうと思ひました。それに一々下駄を履いたり脫いだりする事も比較しましたら可成に無駄な骨折りではないでせうか、私は

臺所の改良に依つて二人の女中は一人で、一人の女中は奥様自ら出來る位ゐに必ずなるべきだと思はれます。そうした上で、日本の婦人は初めて煩雑な家庭の雑務から少しでも脱れて、自分自身の時間も幾分か出來る工風をしなければならない、と思ひますが、今日の家庭では婦人が臺所の爲に費す餘分な時間が餘りに多過ぎるやうに思はれてなりません。具體的に申しますと、それは一通の智識では覺束ない事ですが、私が曾つて東京で家事博覽會で見ました臺所の模型は可成りに考へられたものだと思ひました。矢張り狭い場所の、それはほんの二坪位に過ぎませんでしたが、室の周圍に澤山の棚を拵へてある事と、床は板敷でそれは皆んな揚げ板になつてをりました。揚げ板の下は又々、キで其が幾つもの箱に仕切られていろ〳〵なものゝ貯藏場になつてをります、それから今一つ一寸工風されてあつたと思ひますのは、普通流しと云ひますと、大抵それだけの用で單に四本の足がついてをりますが、私の見ました模型はすつかり下の方が開きの箱になつてをりました、其中へ洗ひ物や摺鉢抔が入るのです。場所を狭く取つてなるべくこけ付きよくなるといふ事は容積と労力の經濟ですが、臺所は殊に空間を尠くする事に依つて理想的に近付けるだらうと思ひます。

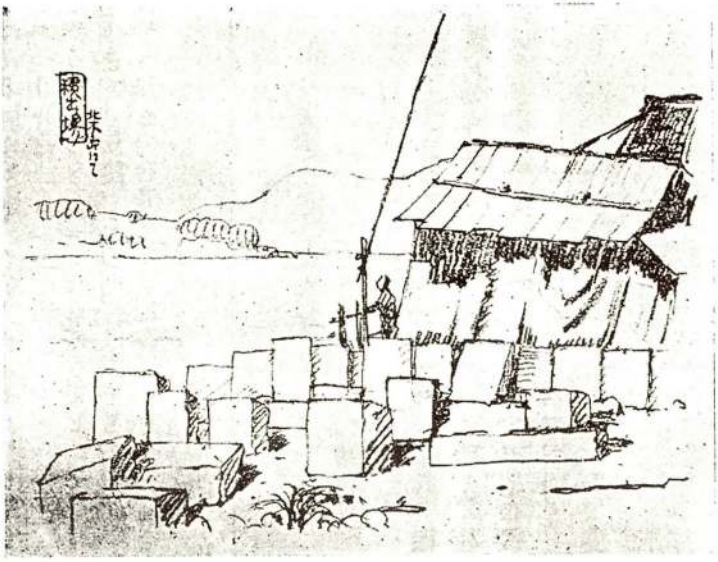
近頃、服裝問題等も追々理論から實行に移つてゐる事は結構だと思ひます。當地では洋裝を遊ばす夫人方も多いと伺ひましたが、何しろ善いと信じた事を躊躇なしに實行されまするは嬉しく思ひます。只今の處住宅、服裝、其他の事も只總てを洋式にといふ譯けには到底ゆかないと思ひますが只日本人の素質に合致した生活の洋式は遠慮なく眞似てもよからうと思ひます。まだ〳〵私共には椅子の簡便よりも疊に座る落ちついた居心地の方が、しつくりと懐しく思はれますのは永い間の習慣からでありませうか。私は私等に添ふた物質文明の長所を學びたいと思ひます。けれども働く者の爲には、出來るだけの簡單と便利は思ひきつて取り入れたいものですが、私は家庭の女中達が、働く時に長い袖と大きな帶を行儀よく脊負つてゐるの様氣の毒に思ふ事はありません。せめて立ち

仕事をする間丈けは、それこそ洋服めいた筒袖の胴着とスカートを別にして、輕くバンドか何かで止めるやうなものを工風したらどうでせうかと考へてをります。無論、その型抔は誰でも手縫ひで出來るやうなものを考へて、地質抔も日本着物の布で何てもよからうと思ひますが如何でしようか——。その上から只今の割烹服でも甲斐々々しく羽織りましたなら、働く者も、他から見る眼もごんなにかいゝ感じでせうと思ひます。

藝術は社會有機體の一機能であり
社會有機體の生存と發展とに對して最高度の重要さを有するものなり……（ギュヨー）

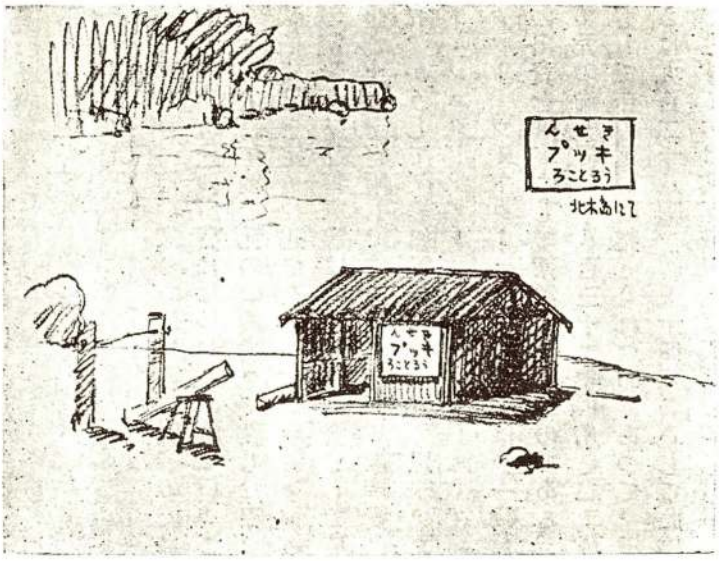
小品二つ

修生



石切り場から狹まい急な坂を私は一と思ひに走り降りた。深綠に沈默してゐる水島灘はエメラルドに透いて見える波打際に眞珠のやうな小波を寄せてゐるだけであつた。切り出されたばかりの水々しい花崗石が山を背負つた小屋の前に叮嚀に並べられてゐる。聞けば此處から石材を送り出すのださうだ。

—北木島—



K會社の二階から私は海岸を眺めてゐる。程近い丁場から始終石切る鑿の音が聞えて曇硝子を透したやうな午後の日射しは靜かな影を砂上に落してゐた。正面の船着き場には切符賣場の小屋が一つ異樣に黒くブツキラボーに見えて島の平和を伴奏してゐる鑿の旋律に自分を忘れてゐるやうに思はれた。

— 北木島 —

雲の峰

夢古村人

倫敦の架橋組織

倫敦のテームス河に架せられてある數多の橋は一として同地市民の出費になつたものはない。これは今から七百年前、元の倫敦橋を架設した際、一の架橋組織を定めた賜である。當時皇帝を初め數多の富豪及び慈善家等は、倫敦橋架費として莫大な金と土地を寄附し、其土地を以て其維持費に充てた、かうして架橋組織が設けられて以來、ウエストミンスター、ブラックフライアース、グレートタワー、ウオーターロー等の諸橋は、一錢も市民の出資を仰がずして架設せられたのである。そして元の倫敦橋は千八百三十二年に凡そ二千萬圓を費して今の處に改架せられたのであつて、橋の長さは九百二十八呎、幅五十四呎、そして此橋の特質とするのは其瓦斯燈柱は大陸の半島戰爭に佛軍から鹵獲した大砲で造られてある事である。

硝子の道路

巴里では市街の道路に硝子を用ふる方法を發明されてゐる、此硝子を鋪くには、セメントを用ひず、全く純粹の硝子のみである。其表は滑かで透明でなく、氣孔を有してゐないから濕氣を其內に含むことがなく、又不快な臭氣を發するやうなこともない。其一珊米突平方は一キロの重さに毫も破損の憂ひがないから、凡ての鋪石法に比して、久しきに耐ふること、堅固なこと、及び衛生上に利のある點が大に優つてゐる。

風船を造つて旅行する虫

佛國の某博物學者は風船を造つて旅行する虫を發見した。此虫は蠅の一種で、風船は凡そ四分の一吋の長さを有し、橢圓形を爲し、口から分泌する泡を以て造られて粘着性を有してゐる。

虫は足で此風船にぶら下つて居て風の吹くまゝ

にどこへでも飛んでゆくのである。奇なことには此風船の中には必ず一匹の死んだ同類の入れてあることである。これは旅行中の食料にするのであらうといふ。又旅行中雌雄が相互に戯れあつてゐるのは新婚旅行の若夫婦だらうとの事だ。

錢の不要な村

米國にヘスチングスと云ふ一村落がある。全村の家屋が盡く一會社の所有で、村民は皆其會社に傭はれて居る上に、諸店の商賣も亦其會社で營んで居るから、凡て買物は各自の給金と差引いて計算する、だから此一村の人達は全く金錢の必要を見ないのである。唯他の地方へ旅行する時のみ會社から金を借受けて行く風習である。

貧民窟の美術館

倫敦の有名な貧民窟ホアイトチャペルに一の美術館がある。これは貧民の心性を高めんが爲に有志家の寄附金に依つて建設せられたものである。外部及び内部の設計は有名なバーヌジョーンス及びクレーンの意匠に基づいたもので頗る美麗な世界有數の美術館である。

全市盡く空家

米國オンタリオ州のノースヘンチングスの附近に、盡く白い大理石の家屋から成る一市街がある是が既に不思議である上に、尚人を驚かすのは、一人の住民もない事である。それはどういふ原因かといふと、曾て同地方に一箇の金塊發を見された事があつた、慾張りのガリ〳〵連の多い米國の事とて我も〳〵と押懸け、孰れも金鑛を掘當てんと熱心に採掘に從事したの者總計五千人、處が、金鑛よりは先に白い大理石の脈を發見したので、先づ大理石で、自分の家は無論寺院から學校、旅店、病院何から何まで盡く之で建築して、家屋丈は堂々と成金振を見せたが、相憎肝腎の金脈が顔を見せてくれないので、それから二年後には一人も殘らず同地を立去つたとの事である。近來住宅拂底の大阪あたりから一番押かけて往つてはどうだらうか。

金屬の生命

從來金屬の工匠間に何故とも瞭ならずして、金屬の不思議な變化を爲す事を屢見ることがある。

が、彼等は之を金屬の「瘕」だと稱してゐるが、それは瘕でなくて金屬の病である。獨乙のベヒホルド博士は金屬に注射を行ふて其性質を變ずることが出來ると斷定してゐる。博士の言によれば金屬は温度の變化で其性質を變ずるものであるが、注射に依るときは急激に其性質を變ずることを得られるさうである。恰當水の凝結せんとするとき一片の氷を其中に投ずれば、水は急に氷に變する如きものと同一の理である。又獨乙のブレヂッヒ敎授の發見した事實はシレシアの一寺院にある古いオルガンのパイプ中、全く其形を失ふたり又不思議な形に變化したりしたものがあつた、同敎授は種々の部分を檢めた後、パイプの一部分に眞の傷あるを見出し、此傷より遂にパイプの病氣に罹つた事を發見したのである。

之と同時に海峽殖民地からバンカ錫を搭載し來た船が、歐洲の北方の港に到着して錫を陸揚しやうとすると、それが悉く灰となつて居た事實が突發したので、同敎授は愈金屬にも病と生命のあることを確めたさうである。

硝子の時代

佛國サンゴバンの硝子製造會社長ジュール、アンリヴオーの豫言する所によれば、次の時代は硝子の時代となるであらうと云ふ。氏は曰く硝子は建築材料として今日でも重要なるのみならず、硝子の原料は殆んど無盡藏で、而も硝子の形狀は如何樣にも爲すことが出來、加之清潔と耐久力の性質を具備してゐる。尙又種々の色を現はし、硬度も頗る强くすることも得れば、チーク又はマホガニーに代るべき硝子椅子を造る事が出來るのみでなく、硝子の家屋をも造ることと頗る容易である。今後硝子の應用が益々擴張せらるべきは勿論で、硝子の時代の來る事は必然的のことである云々。



「時報」

法令

◉住宅組合施行細則

第一條　住宅組合の區域は住宅を供給する地域に依り道府縣の區域内に於て之を定むべし

第二條　住宅組合の設立許可の申請書には定款の外事業方法書を添附すべし

前項の事業方法書に記載すべき事項は地方長官之を定む

第三條　住宅組合は設立當初の組合員全員に對する事業計畫を完了すべき時期に據り其の存立期間を定むべし

第四條　住宅組合法第三條に規定する附屬設備は家屋に相應する門牆塀物置井戸其の他居住の爲必要なる設備に限る

第五條　住宅組合の供給する住宅は一戸に付家屋各階の床面積合計五十坪を超ゆることを得ず但し地方長官の許可を受けたるときは此の限に在らず

第六條　住宅組合は定款を以て住宅の使用及讓渡の時期及手續を定むべし

第七條　住宅の所有權の讓渡に關しては出資金を以て其の對價とす

第八條　組合員たる資格に關する定款の規定には他の住宅組合の組合員に非ざることを要する旨を定むべし

第九條　住宅組合は持分の相續又は讓受に依る場合を除くの外新に組合員を加入せしむることを得ず但し現に供給すべき住宅あるときは此の限に在らず

第十條　住宅組合法第二條の規定に依る住宅用地の貸付又は讓渡に關する事項は定款を以て之を定むべし

第十一條　出資一口の金額は二百圓を超ゆることを得ず

第十二條　第一回拂込の金額は出資一口に付其の金額の二十分の一を下ることを得ず但し地方長官の許可を受けたるときは五十分の一迄下ることを得

第十三條　事業方法書を變更せむとするときは總會の決議を經地方長官の認可を受くべし

第十四條　住宅組合出資拂込の完了に至らざる組合員に住宅の所有權を讓渡する場合に在りては組合は之に對し讓渡の條件として未拂込出資金額に付其の住宅の上に抵當權を設定し又は相當の擔保を提供せしむべし

第十五條　住宅組合の事業年度は政府の會計年度に依るべし

第十六條　住宅組合の理事は毎年度豫算及事業計畫書を調製し年度開始の二月前迄に總會の決議を經べし但し初年度の豫算及事業計畫書に付ては設立許可の後二月内に總會の決議を經べし

第十七條　住宅組合の理事は毎年度決算書を調製し次の通常總會の承認を經べし

第十八條　住宅組合の豫算事業計畫書決算書及事業報告書は總會の決議又は承認を經たる後一月内に地方長官に之を提出すべし

第十九條　定款變更の認可申請書には其の變更理由書友總會の決議錄を添附すべし定款變更にして總組合員の同意を要する場合に在りては其の同意を證する書面を添附すべし

第二十號　登記又は組合原簿の記載に關する届書には理事又は清算人署名捺印すべし

第二十一條　地方長官に提出する組合原簿には其の記載事項に付監事の證明書を添附すべし其の記載事項變更の届書に付亦同に但し組合員の氏名又は住所の變更に付ては此の限に在らず

無限責任組合に於て住宅組合法第十六條第二項の規定に依り準用したる産業組合法第十六條の六第二項の規定に依る組合原簿提出の場合に在りては總組合員の同意を證する書面をも添附すべし

第二十二條　理事又は監事の變更の届書には其の變更が總會の決議に依る場合に在りては其の決議錄其の他の場合に在りては監事の證明書を添附すべし

第二十三條　出資一口の金額又は保證金額の減少の認可申請書には第十九條に揭げたる書類の外財産目錄及貸借對照表を添附すべし

第二十四條　登記又は組合原簿の記載に關する届書には住宅組合法第十六條第二項の規定に依り準用したる産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項の手續を要する場合に在りては其の手續を踐みたることを證する書面を添附すべし

第二十五條　住宅組合法第十六條第二項の規定に依り準用したる産業組合法第五十八條第三項の場合に於ける定款變更の認可申請書には第二十三條に揭げたる書類を添附すべし

第二十六條　組織變更にして組合員の責任を減少する場合に在ては其の認可申請書には第二十三條に揭げたる書類を添附すべし

第二十七條　組合員の保證金額を減少し又は住宅組合法第十六條第二項の規定に依り準用したる産業組合法第五十八條第三項の規定に依る責任期間の短縮を爲したる場合に於て住宅組合法第十六條第二項の規定に依り準用したる産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項の手續を終りたるときは遲滯なく之を證する書面を地方長官に提出すべし

第二十八條　總會の決議に因る解散の認可申請書には理由書總會決議錄財産目錄及貸借對照表を添附すべし

第二十九條　住宅組合法第十六條第二項の規定に依り準用したる産業組合法第六十二條第一項第一號又は第四號の事由に因る解散の届書には其の事由を記載し監事の證明書を添附すべし

第三十條　合併の認可申請書には第二十三條に揭げたる書類並合併契約書合併後存續する住宅組合又は合併に因りて設立する住宅組合の定款及設立者は各住宅組合に於て選任せられたる者なることを證する書面を添附すべし

合併に付總組合員の同意を要する場合に在りては前項の書類の外其の同意を證する書面を添附すべし

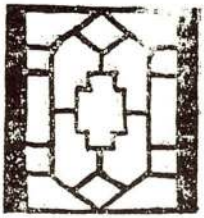
第三十一條　第二十二條の規定は清算人の選任及其の變更の届書に之を準用す

第三十二條　清算人は財産目錄及貸借對照表に付總會の承認を得たるときは遲滯なく地方長官に之を提出すべし

第三十三條　清算結了の届書には總會の承認を經たる決算報告書を添附すべし

附　則

本令は住宅組合法施行の日より之を施行す



會報

會合

○懸賞委員會

△日　時　六月二十三日午後六時—十時半
△會　場　本協會事務所
△出席者　池田、平井、宗、鈴木、野村、内藤、久保田、西谷（書記）
△記事一、第一回懸賞圖案審査委員詮衡
二、懸賞圖案募集規定質疑應答案

○法政委員會

△日　時　六月二十四日午後六時—九時
△會　場　本協會事務所
△出席者　波江、吉木、吉井、橋本、福永、光安、大林、藤井、長田、花田、鈴木、森本、宮本、岸、片山、平塚、島田
△記事　一、委員長選擧　二、歩道使用に關する願書提出に付意見を交換す

○材料委員會

△日　時　六月二十五日午後六時—九時
△會　場　本協會事務所
△出席者　瀨戸、小笠原、松本、谷、能村、新海、田中、森、須川、西谷（書記）
△記事　建築材料規格統一宣傳講演會の後援方に就き協議す

○臨時理事會

△日　時　六月二十七日午後六時—十時半
△會　場　本協會事務所
△出席者　池田、波江、瀨戸、松本、小笠原、吉井、吉木、片岡、葛野、西谷（書記）
△記事　一、懸賞審査委員決定　二、材料見本陳列棚料金並規定制定　三、材料、法政兩委員會よりの報告

○理事會

△日　時　七月五日午後六時—八時半
△會　場　本協會事務所
△出席者　葛野、波江、小笠原、瀨戸、吉木、西谷（書記）
△記事　一、本月例會休會のこと　二、會員詮衡　三、會計報告

○法政委員會

△日　時　七月六日午後六時—八時
△會　場　本協會事務所
△出席者　吉井、大林、平塚、森本、片山、長田、福永、西谷（書記）
△記事　一、市街地建築施工の爲道路の一部に露臺取設け許可の件建議案に付協議す

○材料委員會

△日　時　七月八日午後六時ヨリ十時
△會　場　本協會事務所
△出席者　瀨戸、小笠原、片岡、熊澤、佐藤、谷、森、須川、田中、西谷（書記）
△記　事　建築材料規格統一宣傳講演會及來阪講演者歡迎會準備に付協議す

○講演會講師歡迎會

△日　時　七月九日午後九時ヨリ六時半
△會　場　大阪ホテル
△出席者　池田、岩尾、伊川、伊藤、花田、橋本、新海、布袋、細原、東松、大原、大倉、大林、河村、呼子、竹中、田中、武田、宗、中川、長瀨、中西、谷、野村、中村、野澤、能村、熊澤、熊取谷、久保田、安井、山本、山添、山脇、松尾、松丸、松井、福永、藤井、鴻池、佐藤、木村、宮本、光安、設樂、島田、白川、森本、森、錢高、須賀、片岡、葛野、吉木、小笠原、瀨戸、波江、吉井、（正資）佐藤博士、大熊博士、横河博士、松井學士
△記　事　各員着席後會食に移る宴酣にして片岡副會頭歡迎の辭を述べ了つて横河博士答辭を述べらる後、各自歡を盡して散會す

○建築材料規格統一宣傳講演會

△日　時　七月九日午後七時ヨリ十時半
△會　場　中央公會堂
△順　序
一開會の辭　日本建築協會理事長　葛野壯一郎君
一度量衡規格統一に就て　工學博士　佐藤功一君
一燃瓦に就て　工學博士　大熊喜邦君
一木材に就て　工學士　松井清足君
一文化生活と規格統一　工學博士　片岡安君
一、閉會の辭　建築材料聯合調査會委員長工學博士　横河民輔君

曇り勝ちにて暑氣蒸すが如き夕にも拘はらず熱心なる聽講者七百餘名あり稀なる盛會なりしも時間不足の爲片岡博士の講演を中止せしは遺憾なりき

○法政委員會

△日　時　七月十二日午後六時半ヨリ八時
△會　場　本協會事務所
△出席者　吉木、大林、平塚、宮本、森本、長田、西谷（書記）
△記　事　建議案草案に就て協議し一部訂正の上可決す

○理事會

△日　時　七月二十日午後六時ヨリ八時半
△會　場　本協會事務所
△出席者　葛野、瀨戸、小笠原、吉井、吉木、西谷（書記）
△記　事　一、建築材料規格見本を協會事務所樓上に陳列すること　二、市街地建築に對する假設物（露臺改め）建設に關する建議書の件

會務

△建築材料規格統一宣傳講演會に關し準備の爲め多大の助力を與へられたる各員に篤く謝意を表す
△建築と新材料社より「建築計算寸法便覽」二部寄贈せられり

○新入會員

（本會員）伊崎秀一氏、和田信氏、久

保福次郎氏

（普通賛助員）加田安彦氏、野瀬錂郎氏、
内浦寅吉氏

○住所移轉

倉崎太三郎氏　大阪市北野牛丸町七九ノ六
伊東　武夫氏　大阪市北區西梅ヶ枝町八九
五内川方
中川　彌八氏　大阪府西成郡今宮町神合六
二〇
木越誠二郎氏　朝鮮京城府黄金町日本生命
保險株式會社建築場内
杠　貞雄氏　大阪市北區造幣局内大林組
出張所
宮崎　加平氏　京城府南米倉町二八一
村井　三吾氏　東京市外千駄ヶ谷町七五一
藪中　一良氏　東京市外高田町雜司ヶ谷六
六〇
伊藤　正文氏　大阪市外天王寺村天王寺女
學校前
西田　榮一氏　東京市上野公園不忍池畔日
本産業協會産業館建築事務
所
中川　將氏　大阪府下岸和田町並松八七
渡　實幸氏　福岡市麹屋町十五銀行福岡
支店内
進藤　朝一氏　神戸市北長狹通二ノ二一ノ
二
小村清三郎氏　大阪市北區下福島三ノ八八
山本組
山崎　幸麿氏　大阪市外十三警察署北側
藤井　令三氏　兵庫縣武庫郡御影町上西六
五〇ノ一
山田　醇氏　東京市芝區白金三光町五一
四
權藤　要吉氏　東京府下中澁谷五六七遊林
館

○寄贈圖書

帝國鐵道協會々報　四號　同　協　會
滿洲建築協會雜誌　六號　同　協　會
大阪土木建築業組合會報　一九號　同組合
住　宅　七號　住宅改良會
建築雜誌　六號　建築學會
建築畫報　七號　同　社
農家の友　七號　同　社
國民經濟雜誌　七號　神戸高等商業學校
工業の友　七號　工業學校内其社
建築研究　二號　同　會
庭　園　七號　同　協　會
電氣學會雜誌　七號　同　學　會
平民建築　七號　帝國工業教育會
會　誌　七號　大阪工業會
工業の日本　七號　同　社
建築世界　七號　同　社
材木新聞　六七〇號迄　同　社
金屬工業新聞　五年七ノ一迄　同　社
朝鮮私設鐵道協會々報　六號　同　協　會
ポルトラレドセメント同業會々報
三五號　同　會
建築計算寸法便覽　二部　建築ト新材料社

役員及職員

副會頭　片岡安
理事　葛野壯一郎（理事長）
理事　波江悌夫（主記）
理事　瀬戸文吾（主計）
理事　横濱勉（編輯）
理事　小笠原釼（編輯）
理事　吉井長七（編輯）
理事　池田實
理事　吉木久吉
理事　松本禹象
理事　平井三郎
編輯補　佐藤四郎
　　江村郊邨
書記　西谷節
　　武波泰
　　山崎萬藏夫

會員	二〇三	會員（地方）	七八
名譽贊助員	七〇	終身贊助員	五二
特別贊助員	一五	普通贊助員	三五〇
合計（七月廿五日現在）			七六八

本誌及廣告料定價表

本誌			
冊數	定價	郵稅	
一冊	金五拾錢	貳錢	
十二冊	六圓	貳拾四錢	

廣告料		
種別	金額	
半頁	八圓	特別頁ヲ料金一定シアリ御照會アリ度シ
一頁	拾五圓	

（毎月壹回一日發行）

大正十年七月三十日印刷
大正十年八月五日發行

大阪市外中津町下三番一九八番地ノ一
發行兼編輯人　江村恒一
大阪市東區內淡路町一丁目卅一番地
印刷兼印刷人
印刷所　大阪活版所
大阪市西區京町堀上通一丁目
不動ビルディング內
發行所　日本建築協會
電話土佐堀四、一九三番
振替口座大阪三九七五
大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店　柳々堂書店
電話（土佐堀二四四〇番）
振替口座二〇八四番

浅海商店
池田稔事務所
出浦建築事務所
新海工務所
小笠原建築事務所
渡辺建築事務所
葛野建築事務所
片岡建築事務所
横河工務所
宗建築事務所
国枝工務所
柳下建築事務所
舟橋建築事務所
真水工務所
真水三橋建築事務所
遠藤於菟
木子建築事務所

設楽建築工務所
茂、野村建築事務所
片岡松井建築事務所
東洋装飾
都市工業
池田勘蔵
日本土木大阪出張所
橋本料左衛門商店
大林組
竹中工務店
長瀬組
中川辰蔵
野村亥之助
久保田組
熊取谷熊次郎
山本組
松村組

小西組
藤木正一
鴻池組
駒井喜兵衛
安藤組大阪出張所
有山福重郎
木村組
清水組大阪支店
銭高組
森下新造
山縣組
清水工務店
日本木材工芸
久原鉱業大阪出張所
山田大理石製作所
矢橋商店
吉田鹿之助商店

高田商会
須賀商会
内外土木建築材料
栄進社
松尾和助本店
山本窯業商店
萩原煖房工務所
新田ベニヤ製造所
南満鉱業
砂崎
別府ステインド硝子製作所
河村青写真調製所
山本コンベス商会
大野正営業所
東洋工業社
東京建鉄
有田製陶所
宇野沢組ステインド硝子製作所
共同建材製作所

コルク工業
日本工剤
鈴木製作所
大阪煖房商会
大阪電気商会
川崎工場
北木島石材大阪出張所
高田商会銀座販売店
早稲田大学建築学科早苗会
東京電気
ホーン
浅野スレート大阪出張所
吉田鉄工所
大阪金物商会
日本水道衛生工事
淡陶
横河橋梁製作所
田中源太郎商店
極東硝子工業